

物 件 調 書

【 土 地 】						
所在及び地番	賀茂郡松崎町江奈字前田255番3					
住居表示						
面積	1,974.12㎡(実測面積) ----- 1,974.12㎡(登記簿面積)	地目	宅地(登記簿) ----- 宅地(現況)	土地の形状	長方形地	
接面道路の幅員、種別、状況等	・南東側約56mが幅員約4mの舗装町道に接面					
私道の負担等に関する事項	—					
法令に基づく制限の概要	都市計画区域	都市計画区域外	用途地域	—		
	建蔽率	指定建蔽率	—	基準建蔽率	—	
	容積率	指定容積率	—	基準容積率	—	
	高さの制限	道路斜線制限	無・有	隣地斜線制限	無・有	
		北側斜線制限	無・有	絶対高さ制限	無・有	
		日影による中高層の建築物の制限		無・有		
	外壁後退	無・有		壁面線の制限	無・有	
	準防火地域	無・有		防火地域	無・有	
	その他	建築基準法第6条第1項第4号指定区域、建築基準法第22条区域、景観法				
	※ 各制限内容の詳細は、関係市町村の建築確認担当課にお問い合わせください。					
供給処理施設の状況			事業所名	電話番号		
	電気	引込不可・引込可	東京電力パワーグリッド株式会社	0120-995-007		
	上水道	引込不可・引込可	松崎町生活環境課	0558-42-3969		
	下水道	引込不可・引込可				
	都市ガス	引込不可・引込可				
※ 引込み費用等の詳細は、上記事業所にお問い合わせください。						
交通機関 (直線距離)	バス	東海バス「松崎小学校」停留所:物件の西方約100m				
	鉄道	伊豆急行線「稲梓」駅:物件の東方約16km				
公共施設 (直線距離)	役場	松崎町役場 :物件の南西方約400m				
	小学校	松崎町立松崎小学校 :物件の南西方約250m				
	中学校	松崎町立松崎中学校 :物件の東方約200m				

【 建 物 】		
所 在	賀茂郡松崎町江奈字前田255番地3(登記上の所在地)	
建物の状況 (主である建物)	家屋番号	255番3
	構造・用途	鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 保健所庁舎
	延床面積	786.65㎡(登記簿面積)
	建築時期	昭和55年3月15日建築
	設計等	保健所庁舎として設計
建物の状況 (付属建物)	家屋番号	符号1
	構造・用途	鉄骨造スレート葺平家建 車庫 電気室 犬抑留舎
	延床面積	114.30㎡(登記簿面積)
	建築時期	昭和55年3月15日建築
	設計等	車庫、電気室、犬抑留舎として設計
建物の状況 (付属建物)	家屋番号	符号2
	構造・用途	鉄筋コンクリート造陸屋根平家建 機械室
	延床面積	9.00㎡(登記簿面積)
	建築時期	昭和55年3月15日建築
	設計等	機械室として設計
外構工事等	門、囲障、浄化槽、舗床、受水槽、プロパン置場ほか	
◎参考事項(物件の状況、法令上の制限等に関する特記事項)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本件建物の設備等については、経年変化及び使用に伴う性能低下、損傷、使用不能等があります。</li> <li>・本件建物内の物品類は現況での引渡しとなります。</li> <li>・本件地の埋設物調査は実施していません。</li> <li>・本件建物についてアスベスト調査を令和4年度に実施しており、保健所庁舎の階段上裏及び機械室からアスベストが、車庫等のシャッターから鉛が検出されていますが、現況のまま引き渡します。除去及び費用負担等について、県は対応しません。</li> <li>・本件地は想定深3.0m～5.0mの津波災害警戒区域及び想定深0.5m～3.0mの洪水浸水想定区域に指定されています。</li> <li>・本件地の上水道本管は、東側に位置する南北の道路上に存在し、本物件南側道路に引込み管を埋設してあります。</li> </ul>		

・上水道と同じ位置に温泉管が埋設してあり、本物件にて温泉の利用が可能です。ただし、温泉を利用する場合には、加入金が発生し、加入金と使用料金に関しては自家用と営業用の種別により費用の差が生じます。温泉詳細については、松崎町役場生活環境課(0558-42-3969)にお問合せください。

・本件地の土壌汚染状況調査(試料採取調査)を令和4年度に実施していますが、すべての採取地点において基準を超過した箇所はありませんでした。

・保健所庁舎について、平成7年度に耐震診断を行っています。社団法人静岡県建築士事務所協会の耐震判定書によると、「耐震性能は非常によいが、大地震に対して部分的に軽微な被害もありうる。(極ぜい性部材が破壊する可能性がある。)」という耐震判定がされています。

・本件地の駐車場の一部が現在、松崎町における一般廃棄物(主にビン)の収集場所として利用されています。松崎町は、買受人へ所有権が移転した後については、収集場所を他の場所に変更する予定ですが、収集場所の調整が難航した場合、利用継続の協議を行う可能性があります。

・隣地の樹木等が敷地内に越境している可能性があります。

・本物件の浄化槽設備排水管は、南側に接する町道の地中より西側河川の方向へ埋設されていると思われませんが、位置確定の詳細な図面等が存在せず、松崎町役場にも道路占用に関する申請記録が存在しません。現在、埋設排水管に対する道路占用の費用等は発生していませんが、今後、松崎町役場の方針変更によっては、道路占用許可申請の必要や道路占用の費用が発生する可能性があります。詳細については、松崎町役場産業建設課(TEL:0558-42-3965)へお問合せください。

・本件地の一部上空を電線が通過しています。

・本件地の実測面積は、令和3年の国土調査によるもので、静岡県は測量を実施していません。

※物件調書は、入札参加者が物件の概要を把握するための資料にすぎません。

必ず入札参加者ご自身において、現地及び諸規制についての現地確認を行ってください。

## 品質に係る注意事項

- (1) 物件の引渡しは、物件調書に特段の記載のない限り、現状のままで行います。
- (2) 埋設物調査は実施していませんので、地中埋設物が存在している可能性があります。
- (3) 物件によっては、上下水道設備、ガス設備が敷設されていますが、経年劣化による影響等については確認していません。これらの設備の品質は保証できません。
- (4) 物件及び隣接地の擁壁・直壁・ブロック塀等について、地上及び地中にて境界を越えている場合があります
- (5) 物件の敷地内(地中を含む)にゴミ(家電等を含む)・ガラ・碎石・切り株・雑草等が存在する場合があります。
- (6) 物件調書に特段の記載のない限り、土壌汚染及び地盤に関する調査は行っていません。

## その他の注意事項（契約不適合責任の免責等）

- (1) 建物の建築図面等がある場合は賀茂健康福祉センター総務課において閲覧できます。
- (2) 物件の引渡しは、物件調書に特段の記載のない限り、現状のままで行いますので、物件調書をご参照のうえ、必ず事前に現地の確認をしてください。  
なお、物件調書と現状が異なる場合には現状を優先します。
- (3) 建物を解体撤去する場合の費用負担については、県は対応しません。また、解体撤去する場合は、騒音等の周辺の環境に配慮してください。
- (4) 敷地の形質変更を行う際は、形質変更に伴う粉塵防止対策として、散水等に努めてください。
- (5) 土地の形質変更をする場合の費用負担については、県は対応しません。また、土地の形質変更をする場合は、騒音・粉塵防止対策等の周辺の環境に配慮してください。
- (6) 現在の建物を解体撤去後、新たな建物を建築するにあたっては、建築基準法、文化財保護法及び県、市町の条例のほか協定等により、指導がなされる場合や開発負担金等が必要となる場合がありますので、関係機関にご確認ください。
- (7) 物件によっては、敷地内にフェンス、塀、柵等が設置されていますが、これらの工作物の補修・改修・撤去・再築造及びその費用負担については、県は対応しません。
- (8) 埋設物調査は実施していませんので、地中埋設物が存在している可能性があります。地中埋設物が発見されたとしても、これらの撤去及びその費用負担については、県は対応しません。
- (9) 物件によっては、埋蔵文化財包蔵地に該当するため、開発方法によっては試掘調査が必要となる場合があります。（詳しくは物件所在市町村の教育委員会にお問合わせください。）
- (10) 物件によっては、上下水道設備、ガス設備が敷設されていますが、経年劣化による影響等については確認していません。これらの敷設設備の補修・移設・改修・撤去・再築造及びその費用負担等については、県は対応しません。
- (11) 物件及び隣接地の擁壁・直壁・ブロック塀等について、地上及び地中にて境界を越えている場合がありますが、現状引渡しとなりますので、移設・撤去・再築造及びその費用負担等については、県は対応しません。
- (12) 物件の敷地内及び敷地上空又は隣接地等に電柱(電信柱・電柱付属物・電線等を含む)・支線・ゴミ置き場・道路設置物(ガードレール等)・道路標識(カーブミラー等を含む)等がある場合の移設・撤去等の可否等の取扱いについては、設置者又は管理者等にお問い合わせください。県ではこれらについて対応しません。
- (13) 物件の敷地内(地中を含む)にゴミ(家電等を含む)・ガラ・碎石・切り株等が存在する場合はあ

ります（品質）が、撤去及びその費用負担等については、県は対応しません。

(14) 現状での引渡しのため、現地の除草・伐採及びその費用負担等については、県は対応しません。

(15) 建物のアスベストについては、他に記載のある場合を除き、専門業者による調査は実施していません。調査の費用負担とアスベストが発見された場合の除去及びその費用負担等については、県は対応しません。

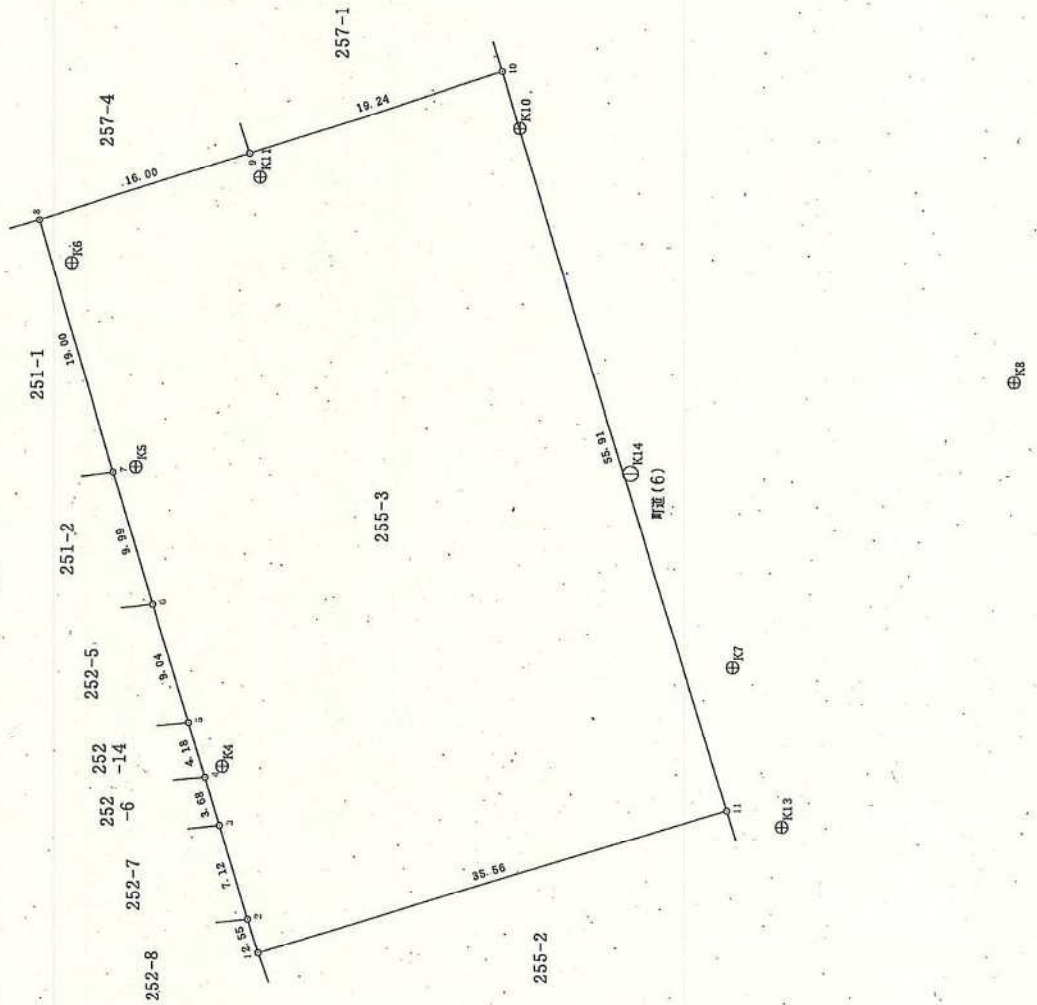
# 案内図



一筆図形 (1/450)

大字	110	江奈		
小字	8	前田		
地番	255-3	計算面積 (㎡)	1974.126	台帳面積 (㎡)
所有者	オオクラシヨウ 大蔵省		住所	
点番	境界点番号	X座標(m)	Y座標(m)	方向角
1	19-913C	-137.986.707	25.729.964	72°54'56"
2	19-914P	-137.985.958	25.732.401	73°15'30"
3	19-918C	-137.983.908	25.739.216	73°16'48"
4	19-920P	-137.982.850	25.742.738	73°23'57"
5	19-922C	-137.981.656	25.746.743	73°15'56"
6	19-924RM	-137.979.054	25.755.397	73°04'20"
7	19-926P	-137.976.145	25.764.955	73°34'33"
8	19-931C	-137.970.773	25.783.179	162°28'15"
9	19-945RM	-137.986.033	25.787.999	162°09'06"
10	19-886RM	-138.004.347	25.793.896	252°59'49"
11	19-887RM	-138.020.697	25.740.428	342°53'19"

点番	基準点	X座標(m)	Y座標(m)	標高(m)
K1	W0W00-F166-1A	-137.955.786	25.776.371	
K2	W0W00-F168-1	-137.951.988	25.755.508	
K3	W0W00-F170-1	-137.963.721	25.789.462	
K4	W0W00-F172-2	-137.984.090	25.743.540	
K5	W0W00-F172-3	-137.977.788	25.765.354	
K6	W0W00-F172-4	-137.973.100	25.780.992	
K7	W0W00-F174-1	-138.021.092	25.750.942	
K8	W0W00-F177-1	-138.041.429	25.771.635	
K9	W0O8124	-137.965.634	25.768.217	
K10	W0O8126	-138.005.622	25.789.906	
K11	W0O8126A	-137.986.771	25.786.271	
K12	WW-142-2	-137.966.689	25.755.549	2.439
K13	WW-153-1A	-138.024.671	25.739.262	
K14	Wx32	-138.013.690	25.764.987	2.491



静岡県賀茂健康福祉センター松崎支援室アスベスト調査 調査結果一覧表

採取日：令和4年9月5日

含有なし：-

試料番号	仕様番号	棟名称	採取箇所	部位	採取対象材	分析項目	分析結果
①	A-1	庁舎	機械室	内壁	吹付	アスベスト	-
②	A-2	庁舎	機械室	天井	A-1同材料		
③	A-3	庁舎	階段上裏	内部	塗装材	アスベスト	クリンタイトル 0.2%
④	A-4	庁舎	OA取入口、煙突	外壁	塗装材	アスベスト	-
⑤	A-5	庁舎	階段段裏	外部	ヒル石吹付	アスベスト	-
⑥	B-1	車庫等	シャッター	SS1-SS2	OP塗	鉛	600 mg/kg 未満
⑦	B-2	車庫等	外壁		塗装材	アスベスト	-
⑧	C-1	機械室	浄化槽室	外部	塗装材	アスベスト	-
⑨		車庫等	シャッター	屋根	OP塗	鉛	13000 mg/kg
⑩		車庫等	シャッター		OP塗	鉛	970 mg/kg
⑪		庁舎	階段上裏	外部	塗装材	アスベスト	-
⑫		庁舎(その他)	境界外壁	外部	塗装材	アスベスト	-
⑬		庁舎	事務室	内壁	塗装・下地材	アスベスト	-
⑭		庁舎	休憩室	内壁	塗装・下地材	アスベスト	-
⑮		庁舎	機械室	配管エルボ	耐火材	アスベスト	トリモナイト/アクリライト 11.8%

アスベスト含有：0.1%以上が含有あり、0.1%未満が含有なし(厚生労働省 労働安全衛生法施行令)

鉛：検出されないこと：600mg/kg未満(厚生労働省令 鉛中毒予防規則)：





# 試験報告書

静岡県賀茂健康福祉センター長 殿

発行No NK065425-01V-2 1/1  
発行日 2022年9月20日

試料受付 2022年9月7日 採取区分 持ち込み  
試験期間 2022年9月7日 ~ 2022年9月20日  
採取場所 ⑨車庫 シャッター屋根

ユニー株式会社 環境株式会社  
本社 東京都中央区幸浦2-1-13  
TEL 03-650-2851  
計量証明番号 計測 計測 計測 計測 計測  
計測 計測 計測 計測 計測

件名 令和4年度静岡県賀茂健康福祉センター松崎保健支援室  
アスベスト等含有調査業務

ご依頼を受けました試料について、試験の結果を次の通り報告いたします。

試料名称	⑨車庫 シャッター屋根			採取月日	9月5日
				採取時間	13時30分
試験の対象	試験の結果	定量下限値	単位	試験の方法	
鉛 以下余白	13000	600	mg/kg	JIS K 5674 附属書A (フレーム原子吸光法)	
備考)	採取者：東海プラント分析センター株式会社				



# 試験報告書

静岡県加茂健康福祉センター長 様

東海プラント分析センター株式会社

〒410-0873 静岡県沼津市大諏訪510-1

TEL 055-924-2700 FAX 055-924-2470

作業環境測定機関登録 22-19

試験管理者 佐野 晋司

ご依頼を受けました試料について試験した結果を下記の通り報告いたします。

1.測定項目	アスベスト
2.試料採取	試料採取の情報はご依頼者様のお申し出により記入致しました。
2-1採取場所	庁舎 機械室 内壁
2-2採取年月日	2022年9月5日
2-3採取者	東海プラント分析センター株式会社 建築物石綿含有建材調査者 鹿内 光
3.件名	令和4年度 静岡県加茂福祉センター松崎保健支援室アスベスト等含有調査業務
4.試料名	① 内壁(A-1)
5.試験方法	JIS A 1481-1:「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法」 JIS A 1481-5:「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第5部:X線回折法によるアスベストの定量分析方法」
6.試験期間	2022年9月5日～2022年9月30日
7.分析使用機器	定性:偏光顕微鏡 Nikon ECLIPSE LV100ND 定量:X線回折装置 X'pertPRO-MRD PW3040/60 PANalytical社製
8.試料粉碎方法	ピンセットにて直接採取
9.試料前処理	485℃電気炉にて灰化处理

## 10.試験結果

JIS A 1481-1	石綿の種類					
	クリソタイル	アモサイト	クロシドライト	トレモライト	アクチノライト	アンソフィライト
石綿有無の判定	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出

JIS A 1481-3	石綿の種類				
	クリソタイル	アモサイト	クロシドライト	トレモライト/アクチノライト	アンソフィライト
石綿含有率	-	-	-	-	-

## 層別結果

層	外観色	層割合	アスベスト種類 推定含有率
1	ライトグレー	100%	不検出
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-

11.添付資料:試験結果詳細を別紙の通りご報告いたします。

# 試験報告書

静岡県加茂健康福祉センター長 様

東海プラント分析センター株式会社

〒410-0873 静岡県沼津市大諏訪510-1

TEL 055-924-2700 FAX 055-924-2470

作業環境測定機関登録 22-19

試験管理者 佐野 晋司

ご依頼を受けました試料について試験した結果を下記の通り報告いたします。

1.測定項目	アスベスト
2.試料採取	試料採取の情報はご依頼者様のお申し出により記入致しました。
2-1採取場所	庁舎 階段上裏 内部
2-2採取年月日	2022年9月5日
2-3採取者	東海プラント分析センター株式会社 建築物石綿含有建材調査者 鹿内 光
3.件名	令和4年度 静岡県加茂福祉センター松崎保健支援室アスベスト等含有調査業務
4.試料名	③ 階段上裏 (A-3)
5.試験方法	JIS A 1481-1:「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法」 JIS A 1481-5:「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第5部: X線回折法によるアスベストの定量分析方法」
6.試験期間	2022年9月5日～2022年9月30日
7.分析使用機器	定性:偏光顕微鏡 Nikon ECLIPSE LV100ND 定量:X線回折装置 X'pertPRO-MRD PW3040/60 PANalytical社製
8.試料粉碎方法	ピンセットにて直接採取
9.試料前処理	485℃電気炉にて灰化处理

## 10.試験結果

JIS A 1481-1	石綿の種類					
	クリソタイル	アモサイト	クロソドライト	トレモライト	アクチノライト	アンソフィライト
石綿有無の判定	検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出

JIS A 1481-3	石綿の種類				
	クリソタイル	アモサイト	クロソドライト	トレモライト/アクチノライト	アンソフィライト
石綿含有率	0.2	-	-	-	-

## 層別結果

層	外観色	層割合	アスベスト種類 推定含有率
1	ベージュ	10%	不検出
2	茶	40%	Chr (0.1%-5%)
3	灰	50%	不検出
-	-	-	-
-	-	-	-

11.添付資料:試験結果詳細を別紙の通りご報告いたします。

# 試験報告書

静岡県加茂健康福祉センター長 様

東海プラント分析センター株式会社

〒410-0873 静岡県沼津市大諏訪510-1

TEL 055-924-2700 FAX 055-924-2470

作業環境測定機関登録 22-19

試験管理者 佐野 晋司

ご依頼を受けました試料について試験した結果を下記の通り報告いたします。

1.測定項目	アスベスト
2.試料採取	試料採取の情報はご依頼者様のお申し出により記入致しました。
2-1採取場所	庁舎 外壁 OA取入口
2-2採取年月日	2022年9月5日
2-3採取者	東海プラント分析センター株式会社 建築物石綿含有建材調査者 鹿内 光
3.件名	令和4年度 静岡県加茂福祉センター松崎保健支援室アスベスト等含有調査業務
4.試料名	④ 外壁 OA取入口 (A-4)
5.試験方法	JIS A 1481-1:「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法」 JIS A 1481-5:「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第5部:X線回折法によるアスベストの定量分析方法」
6.試験期間	2022年9月5日～2022年9月30日
7.分析使用機器	定性:偏光顕微鏡 Nikon ECLIPSE LV100ND 定量:X線回折装置 X'pertPRO-MRD PW3040/60 PANalytical社製
8.試料粉碎方法	ピンセットにて直接採取
9.試料前処理	485℃電気炉にて灰化处理

## 10.試験結果

JIS A 1481-1	石綿の種類					
	クリソタイル	アモサイト	クロシドライト	トレモライト	アクチノライト	アンソフィライト
石綿有無の判定	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出

JIS A 1481-3	石綿の種類				
	クリソタイル	アモサイト	クロシドライト	トレモライト/アクチノライト	アンソフィライト
石綿含有率	-	-	-	-	-

## 層別結果

層	外観色	層割合	アスベスト種類 推定含有率
1	乳白色	5%	不検出
2	白	90%	不検出
3	ライトグレー	5%	不検出
-	-	-	-
-	-	-	-

11.添付資料:試験結果詳細を別紙の通りご報告いたします。

# 試験報告書

静岡県加茂健康福祉センター長 様

東海プラント分析センター株式会社

〒410-0873 静岡県沼津市大諏訪510-1

TEL 055-924-2700 FAX 055-924-2470

作業環境測定機関登録 22-19

試験管理者 佐野 晋司

ご依頼を受けました試料について試験した結果を下記の通り報告いたします。

1.測定項目	アスベスト
2.試料採取	試料採取の情報はご依頼者様のお申し出により記入致しました。
2-1採取場所	庁舎 階段段裏 外部
2-2採取年月日	2022年9月5日
2-3採取者	東海プラント分析センター株式会社 建築物石綿含有建材調査者 鹿内 光
3.件名	令和4年度 静岡県加茂福祉センター松崎保健支援室アスベスト等含有調査業務
4.試料名	⑤ 階段段裏(A-5)
5.試験方法	JIS A 1481-1:「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法」 JIS A 1481-5:「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第5部:X線回折法によるアスベストの定量分析方法」
6.試験期間	2022年9月5日～2022年9月30日
7.分析使用機器	定性:偏光顕微鏡 Nikon ECLIPSE LV100ND 定量:X線回折装置 X'pertPRO-MRD PW3040/60 PANalytical社製
8.試料粉碎方法	ピンセットにて直接採取
9.試料前処理	485℃電気炉にて灰化处理

## 10.試験結果

JIS A 1481-1	石綿の種類					
	クリソタイル	アモサイト	クロシドライト	トレモライト	アクチノライト	アンソフィライト
石綿有無の判定	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出

JIS A 1481-3	石綿の種類				
	クリソタイル	アモサイト	クロシドライト	トレモライト/アクチノライト	アンソフィライト
石綿含有率	-	-	-	-	-

## 層別結果

層	外観色	層割合	アスベスト種類 推定含有率
1	ベージュ	10%	不検出
2	白	40%	不検出
3	ライトグレー	50%	不検出
-	-	-	-
-	-	-	-

11.添付資料:試験結果詳細を別紙の通りご報告いたします。

# 試験報告書

静岡県加茂健康福祉センター長 様

東海プラント分析センター株式会社

〒410-0873 静岡県沼津市大諏訪510-1

TEL 055-924-2700 FAX 055-924-2470

作業環境測定機関登録 22-19

試験管理者 佐野 晋司

ご依頼を受けました試料について試験した結果を下記の通り報告いたします。

1.測定項目	アスベスト
2.試料採取	試料採取の情報はご依頼者様のお申し出により記入致しました。
2-1採取場所	車庫等 外壁
2-2採取年月日	2022年9月5日
2-3採取者	東海プラント分析センター株式会社 建築物石綿含有建材調査者 鹿内 光
3.件名	令和4年度 静岡県加茂福祉センター松崎保健支援室アスベスト等含有調査業務
4.試料名	⑦ 外壁(B-2)
5.試験方法	JIS A 1481-1:「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法」 JIS A 1481-5:「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第5部:X線回折法によるアスベストの定量分析方法」
6.試験期間	2022年9月5日～2022年9月30日
7.分析使用機器	定性:偏光顕微鏡 Nikon ECLIPSE LV100ND 定量:X線回折装置 X'pertPRO-MRD PW3040/60 PANalytical社製
8.試料粉碎方法	ピンセットにて直接採取
9.試料前処理	485℃電気炉にて灰化处理

## 10.試験結果

JIS A 1481-1	石綿の種類					
	クリソタイル	アモサイト	クロソドライト	トレモライト	アクチノライト	アンソフィライト
石綿有無の判定	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出

JIS A 1481-3	石綿の種類				
	クリソタイル	アモサイト	クロソドライト	トレモライト/アクチノライト	アンソフィライト
石綿含有率	-	-	-	-	-

## 層別結果

層	外観色	層割合	アスベスト種類 推定含有率
1	ベージュ	30%	不検出
2	灰	70%	不検出
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-

11.添付資料:試験結果詳細を別紙の通りご報告いたします。



# 試験報告書

静岡県加茂健康福祉センター長 様

東海プラント分析センター株式会社

〒410-0873 静岡県沼津市大諏訪510-1

TEL 055-924-2700 FAX 055-924-2470

作業環境測定機関登録 22-19

試験管理者 佐野 晋司

ご依頼を受けました試料について試験した結果を下記の通り報告いたします。

1.測定項目	アスベスト
2.試料採取	試料採取の情報はご依頼者様のお申し出により記入致しました。
2-1採取場所	機械室 浄化槽 外壁
2-2採取年月日	2022年9月5日
2-3採取者	東海プラント分析センター株式会社 建築物石綿含有建材調査者 鹿内 光
3.件名	令和4年度 静岡県加茂福祉センター松崎保健支援室アスベスト等含有調査業務
4.試料名	⑧ 外壁(C-1)
5.試験方法	JIS A 1481-1:「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法」 JIS A 1481-5:「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第5部:X線回折法によるアスベストの定量分析方法」
6.試験期間	2022年9月5日～2022年9月30日
7.分析使用機器	定性:偏光顕微鏡 Nikon ECLIPSE LV100ND 定量:X線回折装置 X'pertPRO-MRD PW3040/60 PANalytical社製
8.試料粉碎方法	ピンセットにて直接採取
9.試料前処理	485℃電気炉にて灰化处理

## 10.試験結果

JIS A 1481-1	石綿の種類					
	クリソタイル	アモサイト	クロシドライト	トレモライト	アクチノライト	アンソフィライト
石綿有無の判定	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出

JIS A 1481-3	石綿の種類				
	クリソタイル	アモサイト	クロシドライト	トレモライト/アクチノライト	アンソフィライト
石綿含有率	-	-	-	-	-

## 層別結果

層	外観色	層割合	アスベスト種類 推定含有率
1	乳白色	20%	不検出
2	灰	80%	不検出
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-

11.添付資料:試験結果詳細を別紙の通りご報告いたします。

# 試験報告書

静岡県加茂健康福祉センター長 様

東海プラント分析センター株式会社

〒410-0873 静岡県沼津市大諏訪510-1

TEL 055-924-2700 FAX 055-924-2470

作業環境測定機関登録 22-19

試験管理者 佐野 晋司

ご依頼を受けました試料について試験した結果を下記の通り報告いたします。

1.測定項目	アスベスト
2.試料採取	試料採取の情報はご依頼者様のお申し出により記入致しました。
2-1採取場所	庁舎 階段上裏(外)
2-2採取年月日	2022年9月5日
2-3採取者	東海プラント分析センター株式会社 建築物石綿含有建材調査者 鹿内 光
3.件名	令和4年度 静岡県加茂福祉センター松崎保健支援室アスベスト等含有調査業務
4.試料名	⑩ 階段上裏(外)
5.試験方法	JIS A 1481-1:「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法」 JIS A 1481-5:「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第5部:X線回折法によるアスベストの定量分析方法」
6.試験期間	2022年9月5日～2022年9月30日
7.分析使用機器	定性:偏光顕微鏡 Nikon ECLIPSE LV100ND 定量:X線回折装置 X'pertPRO-MRD PW3040/60 PANalytical社製
8.試料粉碎方法	ピンセットにて直接採取
9.試料前処理	485℃電気炉にて灰化处理

## 10.試験結果

JIS A 1481-1	石綿の種類					
	クリソタイル	アモサイト	クロシドライト	トレモライト	アクチノライト	アンソフィライト
石綿有無の判定	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出

JIS A 1481-3	石綿の種類				
	クリソタイル	アモサイト	クロシドライト	トレモライト/アクチノライト	アンソフィライト
石綿含有率	-	-	-	-	-

## 層別結果

層	外観色	層割合	アスベスト種類 推定含有率
1	ベージュ	10%	不検出
2	白	70%	不検出
3	灰	20%	不検出
-	-	-	-
-	-	-	-

11.添付資料:試験結果詳細を別紙の通りご報告いたします。

# 試験報告書

静岡県加茂健康福祉センター長 様

東海プラント分析センター株式会社

〒410-0873 静岡県沼津市大諏訪510-1

TEL 055-924-2700 FAX 055-924-2470

作業環境測定機関登録 22-19

試験管理者 佐野 晋司

ご依頼を受けました試料について試験した結果を下記の通り報告いたします。

1.測定項目	アスベスト
2.試料採取	試料採取の情報はご依頼者様のお申し出により記入致しました。
2-1採取場所	境界 外壁
2-2採取年月日	2022年9月5日
2-3採取者	東海プラント分析センター株式会社 建築物石綿含有建材調査者 鹿内 光
3.件名	令和4年度 静岡県加茂福祉センター松崎保健支援室アスベスト等含有調査業務
4.試料名	⑫ 外壁
5.試験方法	JIS A 1481-1:「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法」 JIS A 1481-5:「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第5部: X線回折法によるアスベストの定量分析方法」
6.試験期間	2022年9月5日～2022年9月30日
7.分析使用機器	定性:偏光顕微鏡 Nikon ECLIPSE LV100ND 定量:X線回折装置 X'pertPRO-MRD PW3040/60 PANalytical社製
8.試料粉碎方法	ピンセットにて直接採取
9.試料前処理	485℃電気炉にて灰化处理

## 10.試験結果

JIS A 1481-1	石綿の種類					
	クリソタイル	アモサイト	クロソドライト	トレモライト	アクチノライト	アンソフィライト
石綿有無の判定	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出

JIS A 1481-3	石綿の種類				
	クリソタイル	アモサイト	クロソドライト	トレモライト/アクチノライト	アンソフィライト
石綿含有率	-	-	-	-	-

## 層別結果

層	外観色	層割合	アスベスト種類 推定含有率
1	茶	10%	不検出
2	白	80%	不検出
3	灰	10%	不検出
-	-	-	-
-	-	-	-

11.添付資料:試験結果詳細を別紙の通りご報告いたします。

# 試験報告書

静岡県加茂健康福祉センター長 様

東海プラント分析センター株式会社

〒410-0873 静岡県沼津市大諏訪510-1

TEL 055-924-2700 FAX 055-924-2470

作業環境測定機関登録 22-19

試験管理者 佐野 晋司

ご依頼を受けました試料について試験した結果を下記の通り報告いたします。

1.測定項目	アスベスト
2.試料採取	試料採取の情報はご依頼者様のお申し出により記入致しました。
2-1採取場所	事務室 内壁
2-2採取年月日	2022年9月5日
2-3採取者	東海プラント分析センター株式会社 建築物石綿含有建材調査者 鹿内 光
3.件名	令和4年度 静岡県加茂福祉センター松崎保健支援室アスベスト等含有調査業務
4.試料名	⑬ 内壁
5.試験方法	JIS A 1481-1:「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法」 JIS A 1481-5:「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第5部: X線回折法によるアスベストの定量分析方法」
6.試験期間	2022年9月5日～2022年9月30日
7.分析使用機器	定性:偏光顕微鏡 Nikon ECLIPSE LV100ND 定量:X線回折装置 X'pertPRO-MRD PW3040/60 PANalytical社製
8.試料粉碎方法	ピンセットにて直接採取
9.試料前処理	485℃電気炉にて灰化处理

## 10.試験結果

JIS A 1481-1	石綿の種類					
	クリソタイル	アモサイト	クロシドライト	トレモライト	アクチノライト	アンソフィライト
石綿有無の判定	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出

JIS A 1481-3	石綿の種類				
	クリソタイル	アモサイト	クロシドライト	トレモライト/アクチノライト	アンソフィライト
石綿含有率	-	-	-	-	-

## 層別結果

層	外観色	層割合	アスベスト種類 推定含有率
1	乳白色	10%	不検出
2	ベージュ	5%	不検出
3	白	80%	不検出
4	ベージュ	5%	不検出
-	-	-	-

11.添付資料:試験結果詳細を別紙の通りご報告いたします。

# 試験報告書

静岡県加茂健康福祉センター長 様

東海プラント分析センター株式会社

〒410-0873 静岡県沼津市大諏訪510-1

TEL 055-924-2700 FAX 055-924-2470

作業環境測定機関登録 22-19

試験管理者 佐野 晋司

ご依頼を受けました試料について試験した結果を下記の通り報告いたします。

1.測定項目	アスベスト
2.試料採取	試料採取の情報はご依頼者様のお申し出により記入致しました。
2-1採取場所	休憩室 内壁
2-2採取年月日	2022年9月5日
2-3採取者	東海プラント分析センター株式会社 建築物石綿含有建材調査者 鹿内 光
3.件名	令和4年度 静岡県加茂福祉センター松崎保健支援室アスベスト等含有調査業務
4.試料名	⑭ 内壁
5.試験方法	JIS A 1481-1:「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法」 JIS A 1481-5:「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第5部:X線回折法によるアスベストの定量分析方法」
6.試験期間	2022年9月5日～2022年9月30日
7.分析使用機器	定性:偏光顕微鏡 Nikon ECLIPSE LV100ND 定量:X線回折装置 X'pertPRO-MRD PW3040/60 PANalytical社製
8.試料粉碎方法	ピンセットにて直接採取
9.試料前処理	485℃電気炉にて灰化处理

## 10.試験結果

JIS A 1481-1	石綿の種類					
	クリソタイル	アモサイト	クロシドライト	トレモライト	アクチノライト	アンソフィライト
石綿有無の判定	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出

JIS A 1481-3	石綿の種類				
	クリソタイル	アモサイト	クロシドライト	トレモライト/アクチノライト	アンソフィライト
石綿含有率	-	-	-	-	-

## 層別結果

層	外観色	層割合	アスベスト種類 推定含有率
1	緑	10%	不検出
2	ベージュ	5%	不検出
3	白	80%	不検出
4	ベージュ	5%	不検出
-	-	-	-

11.添付資料:試験結果詳細を別紙の通りご報告いたします。

# 試験報告書

静岡県加茂健康福祉センター長 様

東海プラント分析センター株式会社

〒410-0873 静岡県沼津市大諏訪510-1

TEL 055-924-2700 FAX 055-924-2470

作業環境測定機関登録 22-19

試験管理者 佐野 晋司

ご依頼を受けました試料について試験した結果を下記の通り報告いたします。

1.測定項目	アスベスト
2.試料採取	試料採取の情報はご依頼者様のお申し出により記入致しました。
2-1採取場所	庁舎 機械室 配管エルボ
2-2採取年月日	2022年9月5日
2-3採取者	東海プラント分析センター株式会社 建築物石綿含有建材調査者 鹿内 光
3.件名	令和4年度 静岡県加茂福祉センター松崎保健支援室アスベスト等含有調査業務
4.試料名	⑮ 配管エルボ
5.試験方法	JIS A 1481-1:「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法」 JIS A 1481-5:「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第5部:X線回折法によるアスベストの定量分析方法」
6.試験期間	2022年9月5日～2022年9月30日
7.分析使用機器	定性:偏光顕微鏡 Nikon ECLIPSE LV100ND 定量:X線回折装置 X'pertPRO-MRD PW3040/60 PANalytical社製
8.試料粉碎方法	ピンセットにて直接採取
9.試料前処理	485℃電気炉にて灰化处理

## 10.試験結果

JIS A 1481-1	石綿の種類					
	クリソタイル	アモサイト	クロシドライト	トレモライト	アクチノライト	アンソフィライト
石綿有無の判定	不検出	不検出	不検出	不検出	検出	不検出

JIS A 1481-3	石綿の種類				
	クリソタイル	アモサイト	クロシドライト	トレモライト/アクチノライト	アンソフィライト
石綿含有率	-	-	-	11.8	-

## 層別結果

層	外観色	層割合	アスベスト種類 推定含有率
1	乳白色	5%	不検出
2	黄緑	95%	Act(5%-50%)
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-

11.添付資料:試験結果詳細を別紙の通りご報告いたします。

## 偏光顕微鏡写真

[備考]

伸長の符号

直交ポーラー+530nm. 鋭敏色検板を挿入して観察したとき、アスベスト繊維を北西～南東方向に向けた状態で以下の符号及び色を示す。

正の符号：オレンジ

負の符号：青

分散色

単ポーラー+分散染色用対物レンズで観察したとき、アスベスト繊維を垂直方向（⊥）に向けた状態で表中の色を示す。

アスベストの光学的性質

	伸長の符号	分散色
クリソタイル	正の符号	屈折率1.550 青（⊥）
アモサイト	正の符号	屈折率1.680 青（⊥）
クロシドライト	負の符号	屈折率1.700 青（⊥）
アンソフィライト	正の符号	屈折率1.605 青（⊥）
トレモライト	正の符号	屈折率1.605 青（⊥）
アクチノライト	正の符号	屈折率1.630 青（⊥）

偏光顕微鏡写真

試料名： ①庁舎機械室 内壁

伸長の符号



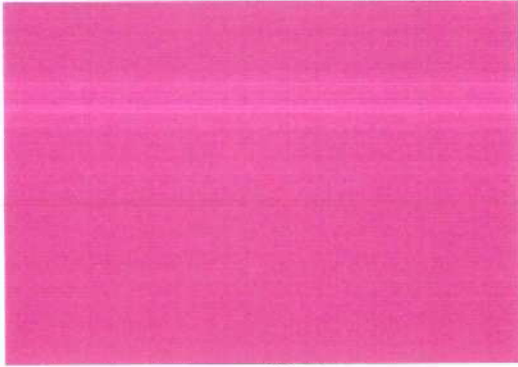
不検出



## 偏光顕微鏡写真

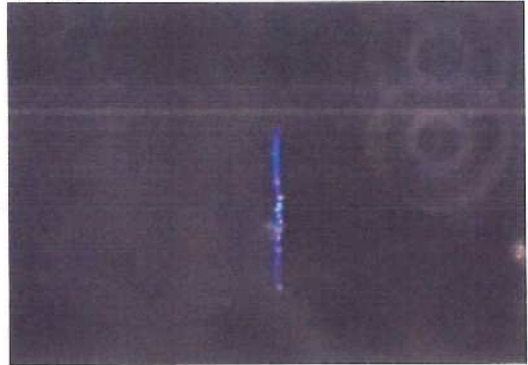
試料名: ③庁舎内部 階段上裏

伸長の符号



正の符号

分散色

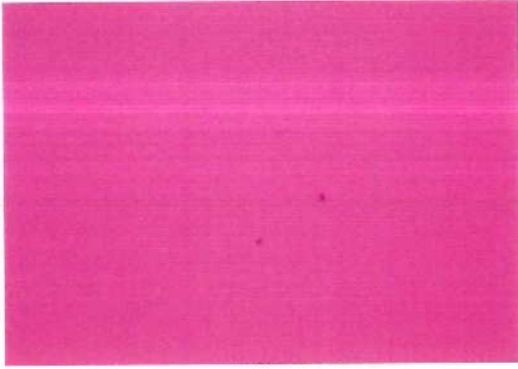


屈折率1.550 青(⊥)  
クリソタイル検出

偏光顕微鏡写真

試料名： ④庁舎外壁 OA取入口

伸長の符号

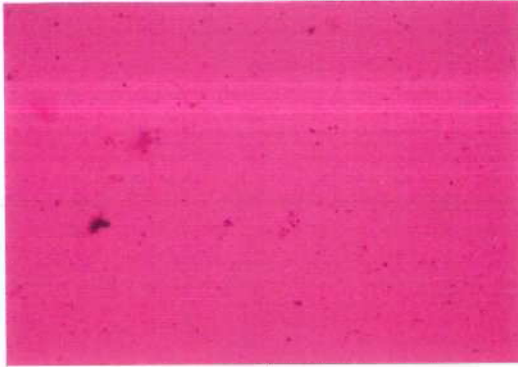


不検出

偏光顕微鏡写真

試料名： ⑤庁舎外部 階段段裏

伸長の符号



不検出

偏光顕微鏡写真

試料名: ⑦車庫外壁

伸長の符号

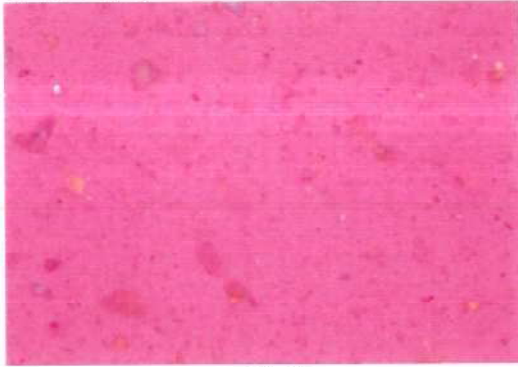


不検出

偏光顕微鏡写真

試料名: ⑧機械室外壁

伸長の符号

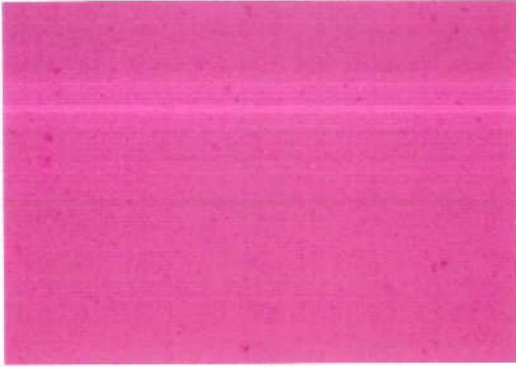


不検出

偏光顕微鏡写真

試料名: ⑪庁舎階段上裏(外)

伸長の符号

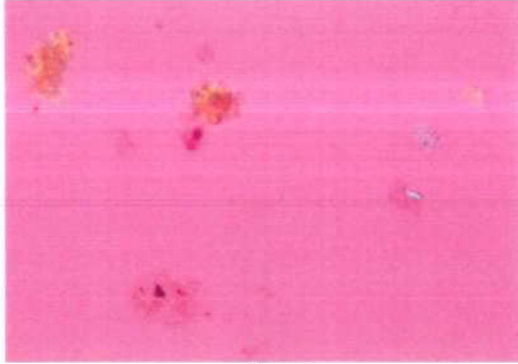


不検出

偏光顕微鏡写真

試料名: ⑫境界外壁

伸長の符号

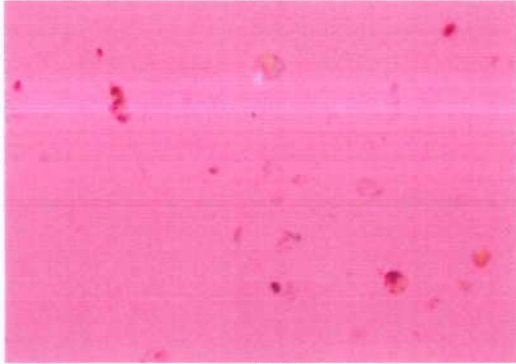


不検出

偏光顕微鏡写真

試料名: ⑬事務室内壁

伸長の符号



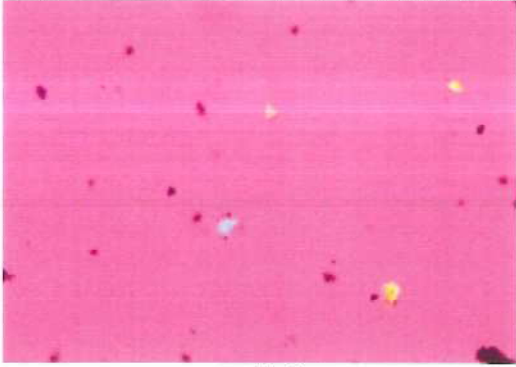
不検出



偏光顕微鏡写真

試料名: ⑭休憩室内壁

伸長の符号

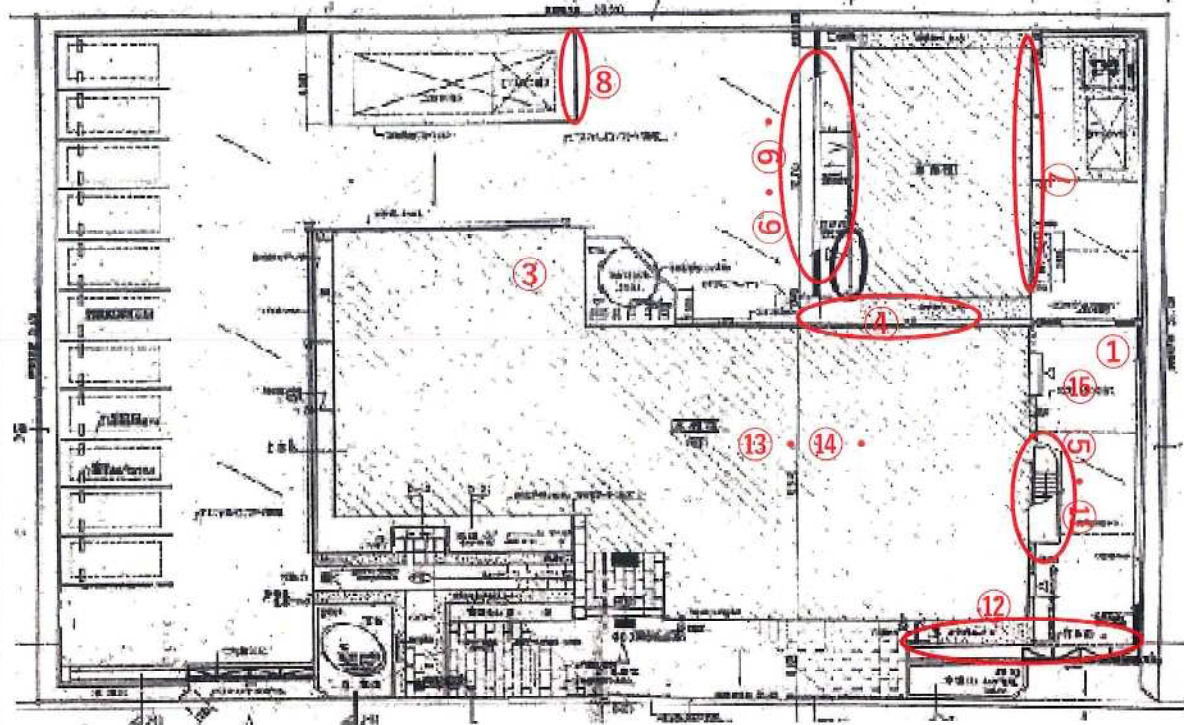


不検出

〈静岡県賀茂福祉センター 松崎保険支援室〉

階数	1	室名	松崎支援室	部位	外壁他	材料	塗装材・吹付材他
劣化度	中	備考					

メモ



令和4年度

静岡県賀茂健康福祉センター松崎保健支援室  
土壌汚染状況調査（試料採取調査）業務委託

報告書

令和5年3月

株式会社エコアップ

目次

1. 業務概要	.....	1
2. 土壤汚染状況調査結果及び考察	.....	4

添付資料

- 1 試料採取地点の平面図及び各地点の採取深度
- 2 土壤ガス採取記録
- 3 土壤ガス回収率確認表
- 4 分析結果一覧表
- 5 計量証明書
- 6 計量証明事業者登録証の写し及び土壤汚染指定調査機関であることを証する書類
- 7 記録写真（位置出し、試料採取、修復確認、室内試験）

## 1. 業務概要

(1)業務名 令和4年度静岡県賀茂健康福祉センター松崎保健支援室  
土壌汚染状況調査（試料採取調査）業務委託

(2)業務の目的 本業務は、令和4年度に自主調査として実施した土壌汚染対策法第4条第1項に準じた土壌汚染状況調査（地歴調査）の結果から、「土壌汚染の存在するおそれが少ないと認められる土地」、「土壌汚染のおそれが多いと認められる土地」の対象となった特定有害物質について試料採取調査を実施し、基準に照らして判定する。

(3)調査位置 静岡県賀茂健康福祉センター 賀茂保健所 松崎保健支援室  
静岡県賀茂郡松崎町江奈字前田 255番3（地番）

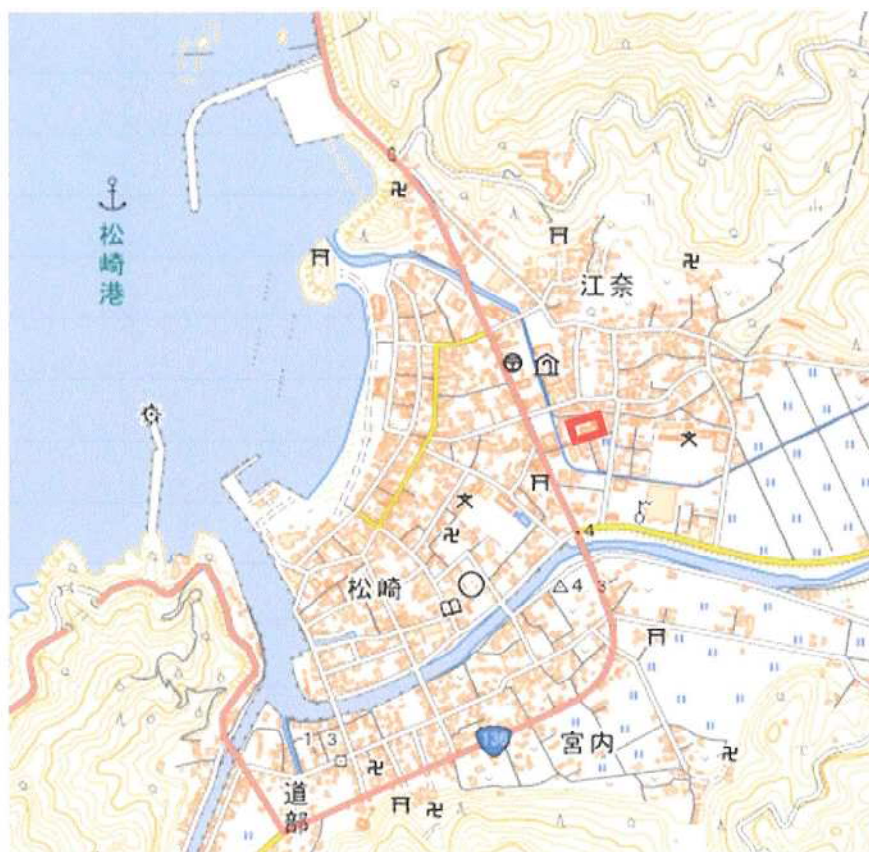


図-1 調査対象位置図（□：調査対象地）

(4)工期	着手	令和4年12月21日
	完了	令和5年3月15日

(5) 業務内容

① 試料採取

添付資料 1「調査地点位置図（地表面・埋設配管・浄化槽下）」に示す地点において分析試料の採取を行った。

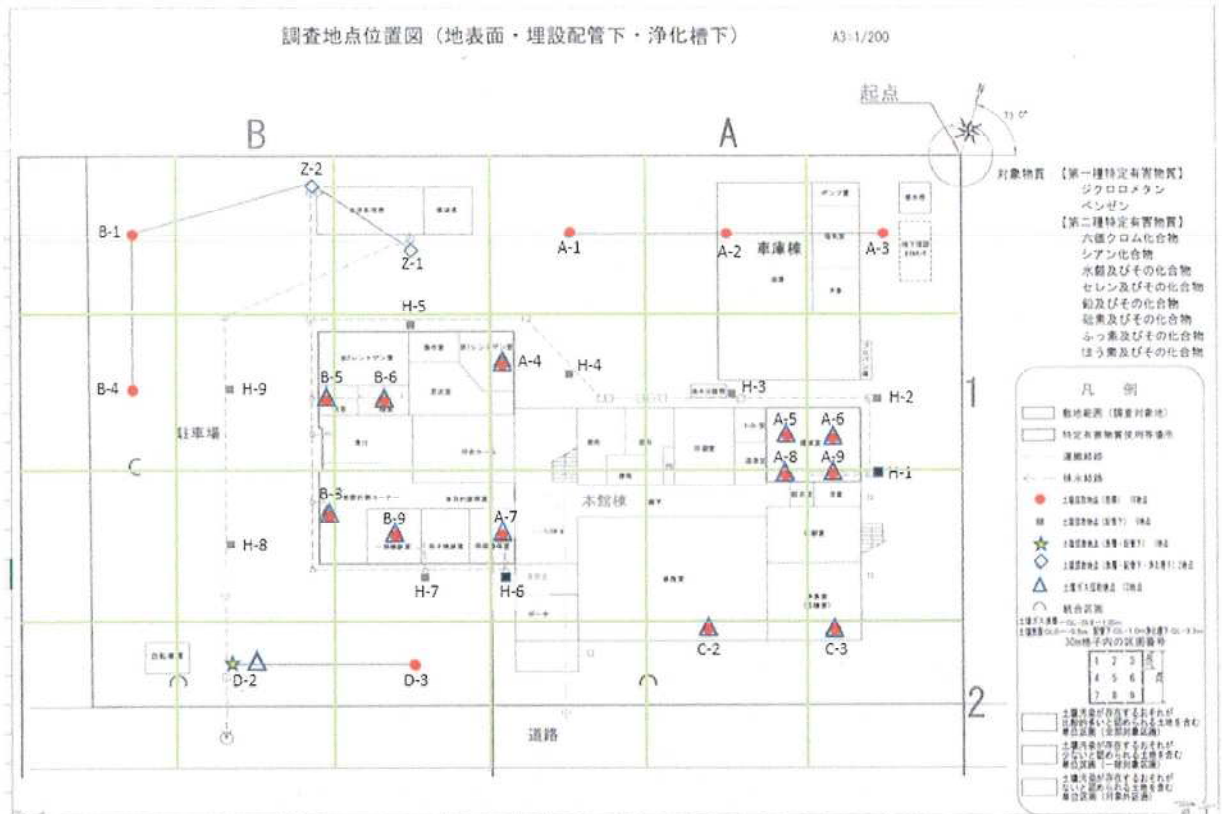


図-2 調査地点位置図（地表面・埋設配管・浄化槽下）

② 採取時の状況

試料採取時の状況を表-1「各地点の採取深さ」及び添付資料 2「土壌ガス調査試料採取時記録」に示す。また採取状況を写真 1-1～3-19 に示す。

採取方法は、土壤汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン（改訂第 3 版）Appendix-5.土壌ガス調査に係る採取及び測定の方法及び Appendix-8. 第二種特定有害物質及び第三種特定有害物質に係る土壌試料採取方法による。

試料採取時にアスファルト及びコンクリートに削孔を開けたため、簡易修復を行った。写真 4-1～4-30 に示す。

表-1 各地点の採取深さ

	採取箇所	検尺	地表
建物外	A-1表層	54cm	アスファルト (4cm)
	A-2表層	67cm	コンクリート (17cm)
	A-3表層	53cm	アスファルト (3cm)
建物内	A-4表層	88cm	コンクリート (38cm)
	A-5表層	85cm	コンクリート (35cm)
	A-6表層	85cm	コンクリート (35cm)
	A-7表層	85cm	コンクリート (35cm)
	A-8表層	84cm	コンクリート (34cm)
	A-9表層	83cm	コンクリート (33cm)
建物外	Z-1表層	—	アスファルト (4cm)
	Z-1配管下	—	配管深さ (90cm)
	Z-1浄化槽下	4m	アスファルト、土壌 (3.5m)
	Z-2表層	—	アスファルト (4cm)
	Z-2配管下	—	配管深さ (90cm)
	Z-2浄化槽下	4m	アスファルト、土壌 (3.5m)
	B-1表層	54cm	アスファルト (4cm)
	B-4表層	54cm	アスファルト (4cm)
建物内	B-5表層	85cm	コンクリート (35cm)
	B-6表層	85cm	コンクリート (35cm)
	B-8表層	85cm	コンクリート (35cm)
	B-9表層	87cm	コンクリート (37cm)
	C-2表層	85cm	コンクリート (35cm)
	C-3表層	86cm	コンクリート (36cm)
建物外	D-2表層	100cm	土壌ガスのみ
	D-2配管下	140cm	配管深さ (90cm)
	D-3表層	54cm	アスファルト (4cm)
	H-1配管下	113cm	配管深さ (63cm)
	H-2配管下	95cm	配管深さ (45cm)
	H-3配管下	110cm	配管深さ (60cm)
	H-4配管下	123cm	配管深さ (73cm)
	H-5配管下	137cm	配管深さ (87cm)
	H-6配管下	142cm	配管深さ (92cm)
	H-7配管下	144cm	配管深さ (94cm)
	H-8配管下	140cm	配管深さ (90cm)
	H-9配管下	115cm	配管深さ (65cm)

### ③分析試験

試料を試験室に持ち帰って行った。土壤ガスは採取後 24 時間以内に分析試験を行った。採取土壌は風乾後、2 mm 篩を通過したものについて、混合するものは等量混合を行い、溶出液作成、含有液作成を行った。

土壤ガス試験については、土壤汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン（改訂第 3 版）Appendix-5.土壤ガス調査に係る採取及び測定の方法、土壤試料については Appendix-9.土壤溶出量調査に係る測定方法、Appendix-10.土壤含有調査に係る測定方法による。

土壤ガス調査の精度管理のため、添付資料 3「土壤ガス調査の運搬及び保管による濃度の減少の程度を評価した表」を示す。

## 2. 土壤汚染状況調査結果及び考察

土壤汚染状況調査（表層部試料採取）の結果、すべての採取地点において基準を超過した箇所は無かった。ふっ素及びその化合物の溶出量検査において、検出された箇所があったが、海に近い土地であることから、自然由来によると考えられる。

以上より、静岡県賀茂健康福祉センター 賀茂保健所 松崎保健支援室（静岡県賀茂郡松崎町江奈字前田 255 番 3）に土壤汚染のない土地と認められる。



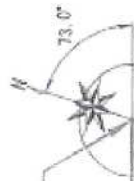
## 添付資料 1

試料採取地点の平面図及び各地点の採取深度

---

# 調査地点位置図 (地表面・埋設配管下・浄化槽下)

A3=1/200



起点

A

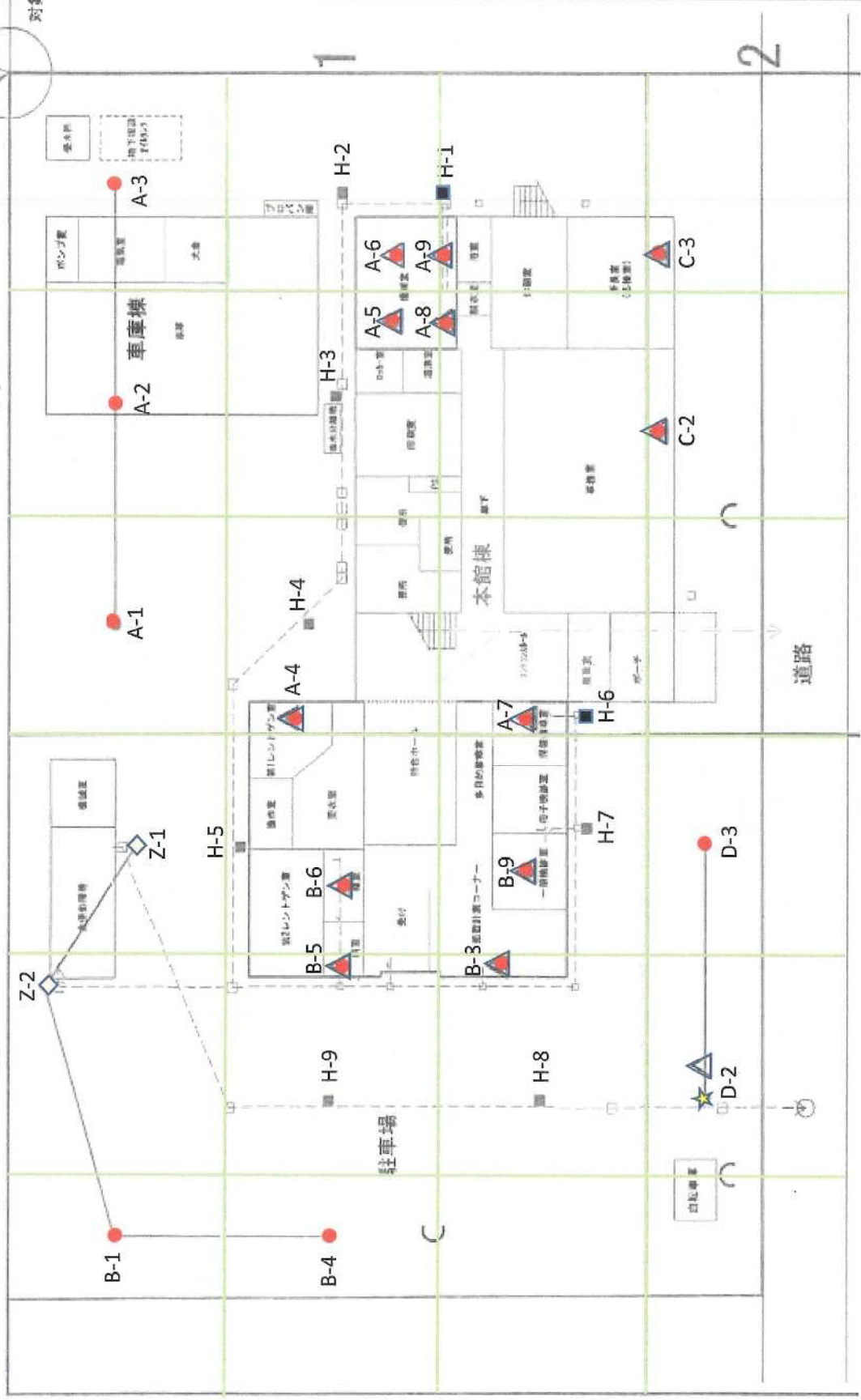
B

- 対象物質：【第一種特定有害物質】  
ジクロロメタン  
ベンゼン
- 【第二種特定有害物質】  
六価クロム化合物  
シアン化合物  
水銀及びその化合物  
セレン及びその化合物  
鉛及びその化合物  
砒素及びその化合物  
ふっ素及びその化合物  
ほう素及びその化合物

## 凡例

- 敷地範囲 (調査対象地)
- 特定有害物質使用等場所
- 埋設配管
- 排水線路
- 土壌汚染地 (表層) 10m
- 土壌汚染地 (表層) 2m
- 土壌汚染地 (表層・表層下) 10m
- 土壌汚染地 (表層・表層下) 2m
- 土壌汚染地 (表層・表層下・浄化槽下) 10m
- 土壌汚染地 (表層・表層下・浄化槽下) 2m
- 統合受函

土壌汚染が存在するおそれがあるおそれがあるおそれがある  
土壌汚染が存在するおそれがあるおそれがあるおそれがある  
土壌汚染が存在するおそれがあるおそれがあるおそれがある  
土壌汚染が存在するおそれがあるおそれがあるおそれがある



(様式第7号)

第5-2-951017号

平成7年12月19日

## 耐 震 判 定 書

静岡県  
知事 石川嘉延 様

社団法人静岡県建築士事務所  
会 長 中



診断対象建築物について本会耐震判定会において、その耐震性を判定した結果は下記のとおりです。

### 記

#### 1・耐震診断対象建築物

件名	下田保健所松崎支所 本館	耐震診断業務
所在	賀茂群松崎町江奈255-3	
構造規模	鉄筋コンクリート造 2階建 延	786.65m <sup>2</sup>

#### 2・耐 震 判 定

耐震性能は非常によいが、大地震に対して部分的に軽微な被害もありうる。(極ぜい性部材が破壊する可能性がある。)

なお、詳細については別添報告書を参照されたい。

# 耐震診断結果報告書


R.C 造 2 次診断

施設名 下田保健所松崎支所 本館

所有(管理)者 静岡県 県

報告年月日 平成 7 年 12 月 日

報告者 静岡市佐馬野  
 静岡県建築士会  
 会長



担当 者 静岡県静岡市松崎町遺部487  
 一級建築士事務所 宣士企画  
 高木 隆夫

# 目次

1. 一般事項	頁	
1-1 耐震診断対象建築物概要	1	3. 出力 (正本のみ)
1-2 配置図	3	3-1 既存1次・2次の電算出力
1-3 地震種別地図	4	
2. 既存建築物の耐震診断		
2-1 診断結果の概要と建築物の性質	5	
2-2 診断の所見	7	
2-3 1次・2次診断の結果	8	
2-4 状況図	11	
2-5 軸組図	13	
2-6 軸力表	17	
2-7 柱、壁、雑壁リスト	19	
2-8 その他	24	

# 1. 耐震診断対象建物概要

1.1 名称等  
 建築物名称 下屋係建所 松崎支所  
 所在地 環境省茨城県取手市江島城内  
 用途 係建所

設計者名称 (株) 井武・山口建築事務所  
 住所 東京都中央区銀座7丁目5-4  
 設計年月日 昭和54年6月22日 or 年度

施工者名称 河建建設株式会社  
 住所 静岡県下田市中央411-1  
 施工年月日 昭和55年3月21日 or 年度

## 1.2 建物概要等

階	1	2	3	4	5	6	計
面積(㎡)	501.65	285.0					786.65
重量(%)	1.20	1.20					1.20

地下室 有  無

ペントハウス 有  無

## 1.3 設計図書等の保存

意匠図  有  無

構造図  有  無

構造計算書  有  無

地質調査資料  有  無

## 1.4 構造部材強度 (設計強度に異なる場合は添削のこと)

コンクリート  $F_c$  Z10 kg/cm<sup>2</sup>

鉄筋 柱主筋 SD295 帯筋 SD295 壁筋 SD295

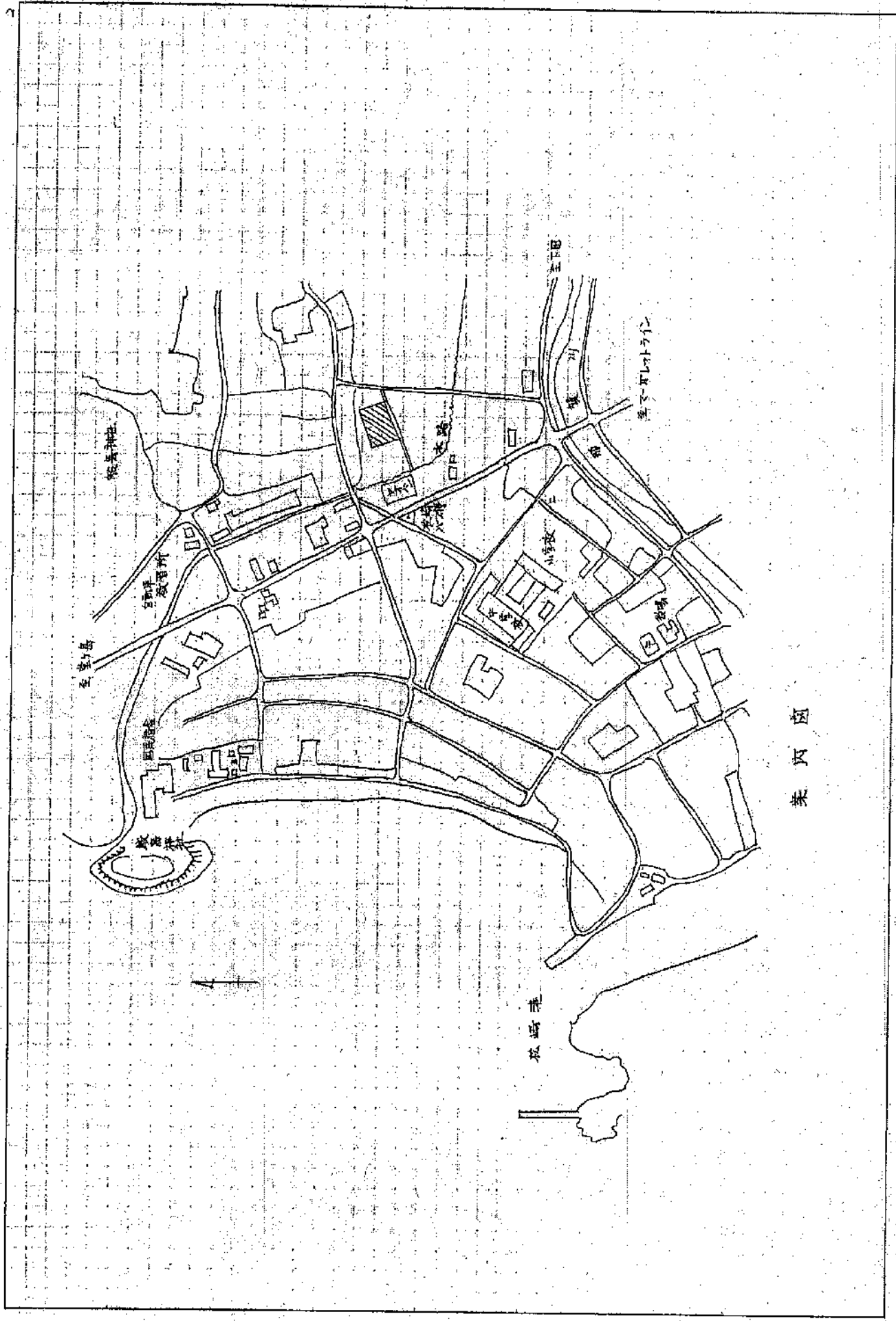
鉄骨

耐力種類 AC 径 45φ 長さ 35.0 m 耐力 40 kN

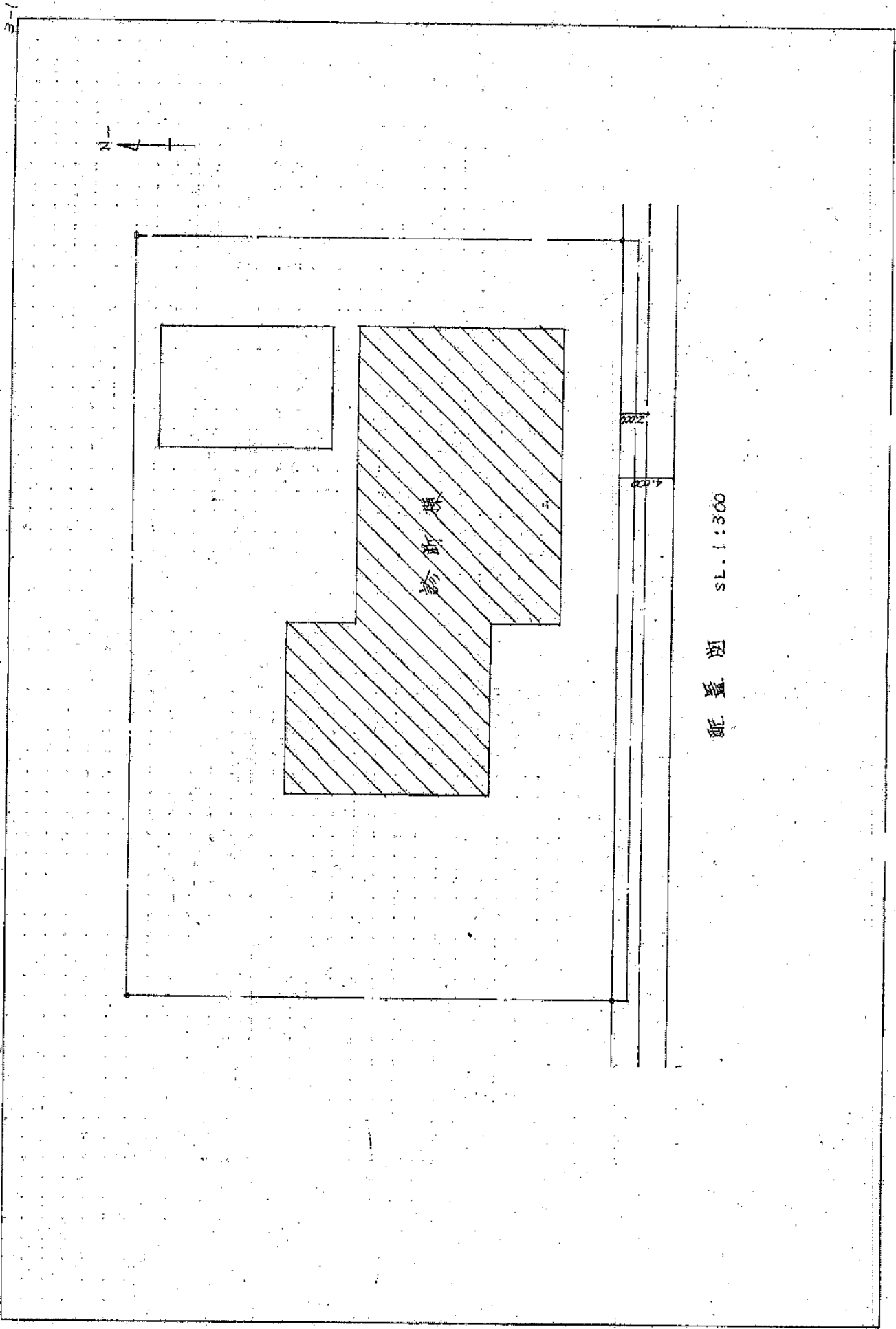
その他

## 1.5 耐震診断の方針

- ① 本診断は財団法人 日本防災協会基修「GREEN 1.2.3」(ニューフェイス研究会)の章第7.0.1項を用いて行う。
- ② 診断次数は 1.2 次とする。
- ③ 結果については、標準配座指標値 ( $I_0$ ) と耐診断指標値 ( $I_F$ ) とを比較検討し判断する。また、標準配座指標 ( $I_0$ ) と形状指標 ( $I_S$ ) との値についても検討する。
- ④ 標準配座指標については、1.20 以下とする。
- ⑤ 建築物耐力指標は該建物の敷地を証載し、耐震診断に於ては該診断するが、在室のハブ式都市ガス等の指標の  $1/2$  も加えて指標とする。



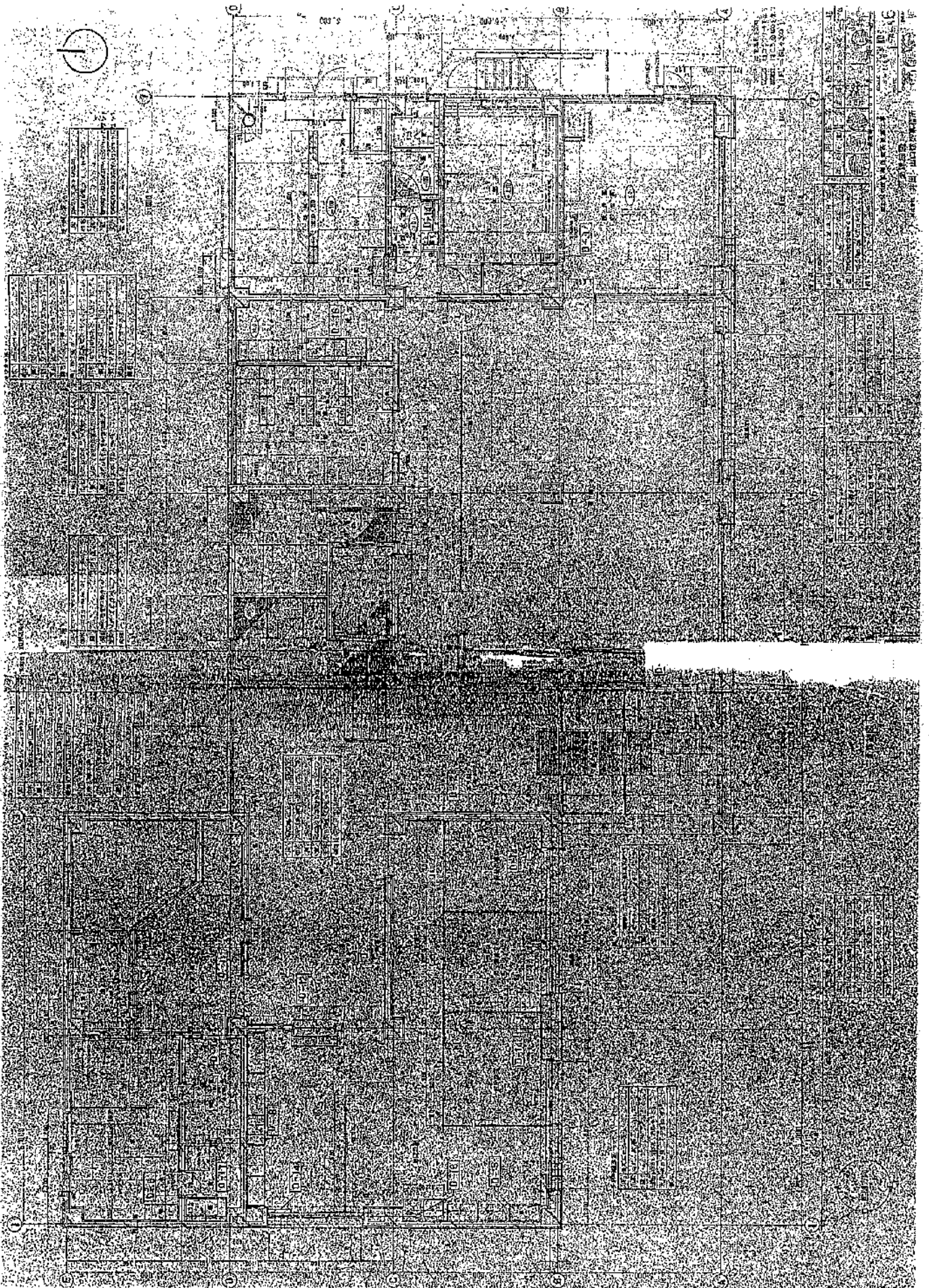
朱内函



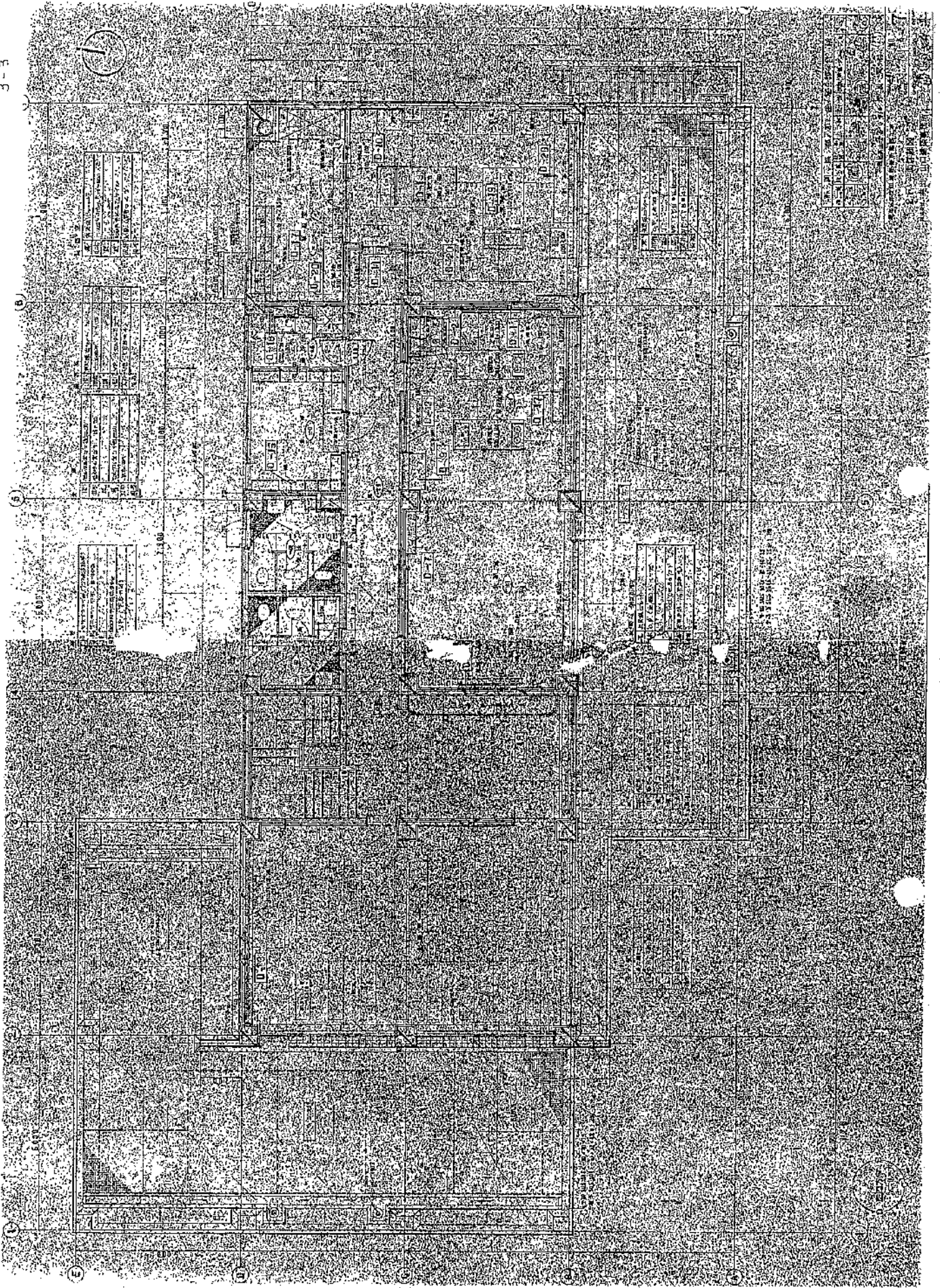
配盤図 SL.1:300

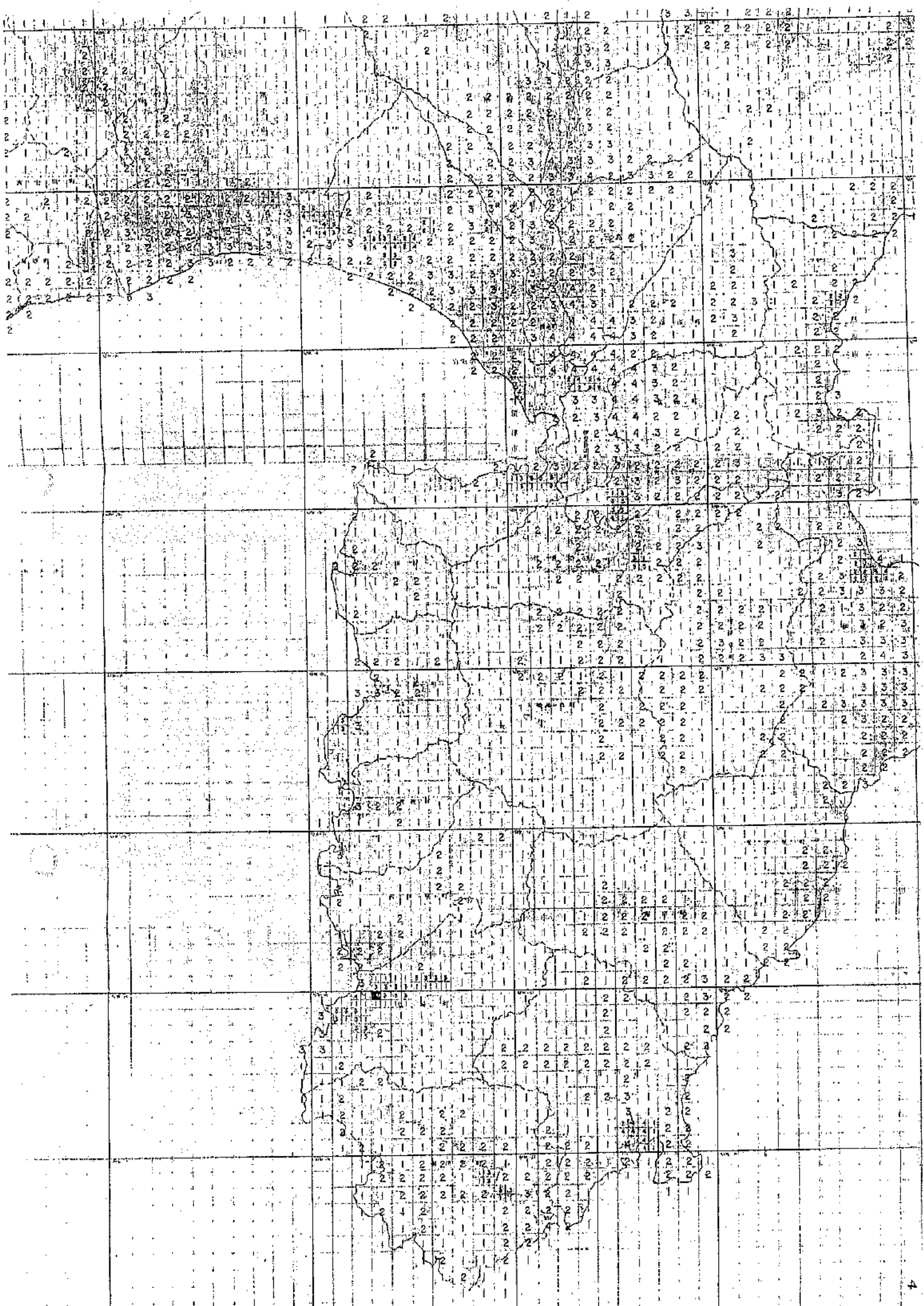


3-2



3-3



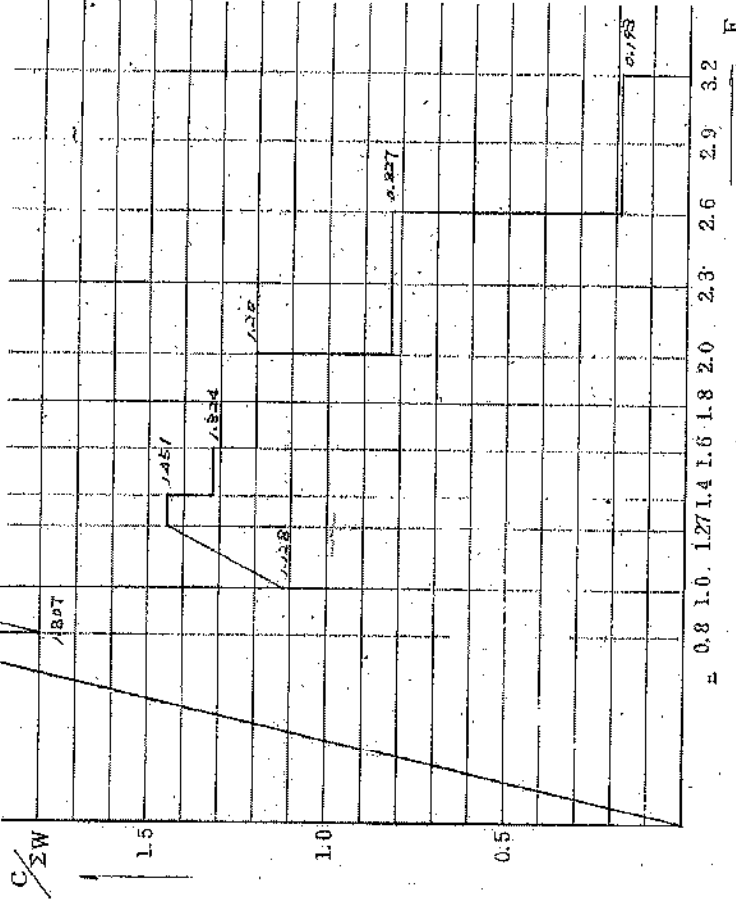


2. 既存建物の耐震診断

2-1 診断結果の概要と建物の性質  
診断結果の概要

項目	概要			
	Is	Is/Ec	2階	X方向
Is	1.66 (1.07)	1.33 (0.86)	2	1.25
Et	1.25	2.00	1.0	1.25
SDDについて	剛重比のT-L-Fが0.90である 整形比のT-L-Fが0.80である			
Tについて	構造生れつ、変形は甚しい。			
耐震性に 部材について	柱せい、性部材は3ヶ所存在するが、いずれもその種構造 基準ではない。			
地域	A地域	地盤種別	第3種地盤	
その他 特記事項				

建築物の性質



$\Sigma W = 342.0T$  (… 廻り柱 …… 壁 …… 土人部柱)

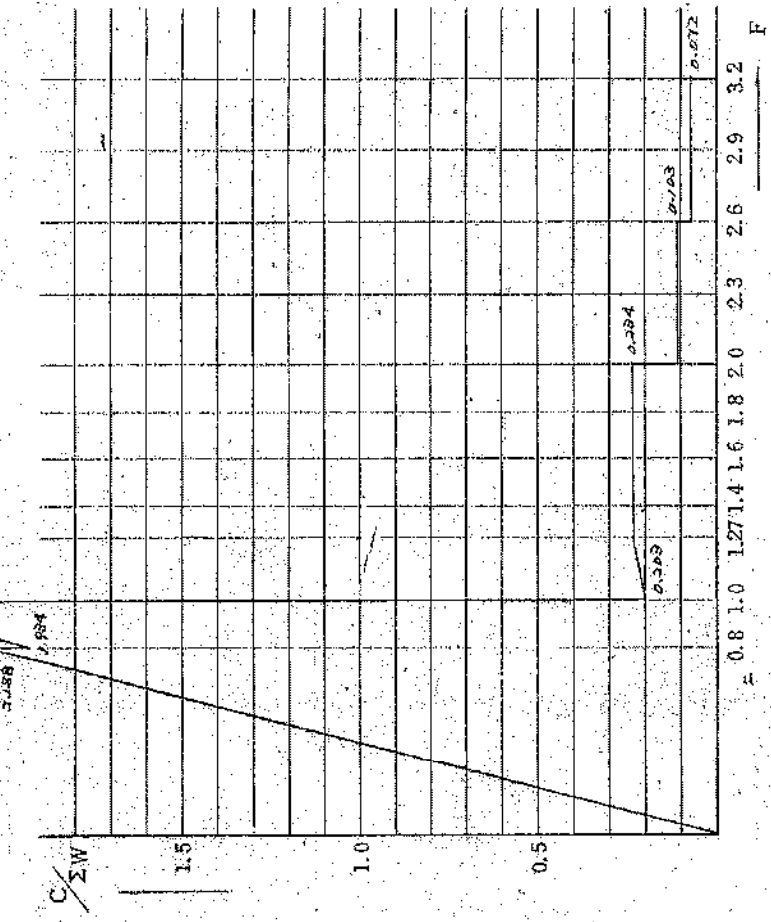
	F	0.8	1.0	1.27	1.4	1.6	1.8
F							
C		191.7	0.491.80		43.38		42.53
C/ΣW		0.561	1.438		0.127		0.124
F		2.0	2.3	2.6	2.9	3.2	
C				215.90			66.04
C/ΣW				0.634			0.193

	1F	2F	3F	4F	5F	6F
偏心率	0.046	0.049				
剛重比	0.741	0.982				
柱率	2970	127.4				
壁率	132.5	149.3				

診断結果の概要

項目	概要				要			
	Is (1.47)	Is/E 1.85 (0.172)	I 1.00	Y Ci 1.35		方向		
Et	1.25	Is	1.00	Cc	1.00	Ci	1.35	
SDに ついて	整形性のレベルは0.80である							
Tに ついて	構造形式、変形は正しい							
極せい性 部材に ついて	極せい性部材は4ヶ所存在するが、いずれもオゾン構造 要素ではない							
地 域	A 地域	地盤種別	第 3 種地盤					
そ の 他 特記事項								

建築物の性質



ΣW = 977.9 (●: 通柱, ○: 壁, せん断柱)

F	0.8	1.0	1.27	1.4	1.6	1.8
C	148.10	250.04				
C/ΣW	0.152	0.255				
F	2.0	2.3	2.6	2.9	3.2	
C	625.18		20.34		71.16	
C/ΣW	0.131		0.021		0.072	

	1 F	2 F	3 F	4 F	5 F	6 F
偏心率	0.080	0.097				
剛重比	0.874	1.713				
柱 率	22.27	42.46				
壁 率	121.6	258.9				

2-2 診断の所見

1. 現況調査と設計閉巻の題名

現況調査と設計閉巻の結果、設計閉巻との相違は無かった。

2. 量物量量にかつては、構造計算値が大きい差、 $\sigma = 1.27 \text{ MPa}$  とした。

床面積にかつては、床等、ハネ出し部分にかつては、 $\sigma = 1/2$  を計算

入して行った。

3. 2次診断の結果、IS値の最少値は

X方向2階  $IS = 1.46 (1.07)$  Y方向1階  $IS = 2.32 (1.47)$

で、X方向2階に決定する。又、標準  $ES = 1.00$   $T = 0.93$

である。従って  $IS/ES \cdot T = 1.66 / (1.00 \cdot 0.93) = 1.78$  となり

耐震性能は標準に劣るが、地震量は式として、部分制は軽微な被

害もあつた。

4. 極心の柱部材にかつて

X方向は2階に3ヶ所、Y方向1階には4ヶ所存在するが

設計の結果 (P. 27. 28 参照) 耐震性能は、耐震性能は、耐震性能は

位置に劣るため、この場合は、この場合は、この場合は

尚、X方向1階に8ヶ所、Y方向2階に2ヶ所存在するが

このらも、このらも、このらも

5. 総合所見

耐震性能を考慮すると、 $IS/ES = 1.66 / 1.25 = 1.33$

となり、予想されている。東海建設に付しては、耐震性能は

とどまりと見られるが、極心の柱部材は破壊する可能性がある

補強の必要と見られる。X、Y方向の柱部材は、この部分を補強する

針

追記

2階④の極心の柱は、2種構造要素ではないが

余力が、この工事で、この工事で、この工事で

必要と思われる。

(C.7) 診断結果表  
第1次診断

第1次診断 結果表										
建物名称 (松岡保健所)		竣工年度 (S.55)		住所 (賀茂郡松岡町)						
診断者名 (富士企画)		診断年月日 (H.7.10.7)								
建物の階数 (2)		診断方向 (X & Y)								
方向	階	C	F	TYPE	EQ	SD	T	IS		
X	6									
	5									
	4									
	3									
2	2.15	1.0	W	2.17	0.80	1.00	1.74			
	1.06	1.0	C							
1	2.10	1.0	W	2.29	0.80	1.00	1.83			
	0.27	1.0	C							
6										
5										
4										
3	4.53	1.0	W	3.58	0.80	1.00	2.85			
	0.35	1.0	C							
2	0.09	0.8	SC	2.57	0.80	1.00	2.06			
	2.46	1.0	W	( 1.52)			( 1.21)			
1	0.15	1.0	C							

タイプ: SC=短柱 W=壁 C=柱  
( ): 短柱を考慮した場合

第2次診断

第2次診断結果表										
建物の名称 (私埤保健所)		竣工年度 (S.55.)		住所 (賀茂郡松崎町)						
診断者名 (富士企画)		診断年月日 (H.7.10.7)								
建物の階数 (2)		診断方向 (X & Y)								
構造耐震判定指標		ISO = B <sub>s</sub> × Z × G × U =								
方向	階	C	F	EO	SD	T	IS	CT × SD	判定	
	6									
	5									
	4									
	3									
	2	0.56 1.99 0.83	0.80 1.00 2.60	2.20 (1.42)	0.81	0.93	1.66 (1.07)	1.56		
	1	0.65 2.07	0.80 1.00	2.07 (1.68) [2.07]	0.90	0.93	1.74 (1.41) [1.74]	1.86		

( ) : 従属生部材を考慮した場合の指標値  
 [ ] : せん断降伏性を考慮した場合の指標値 (5) 式にて算定

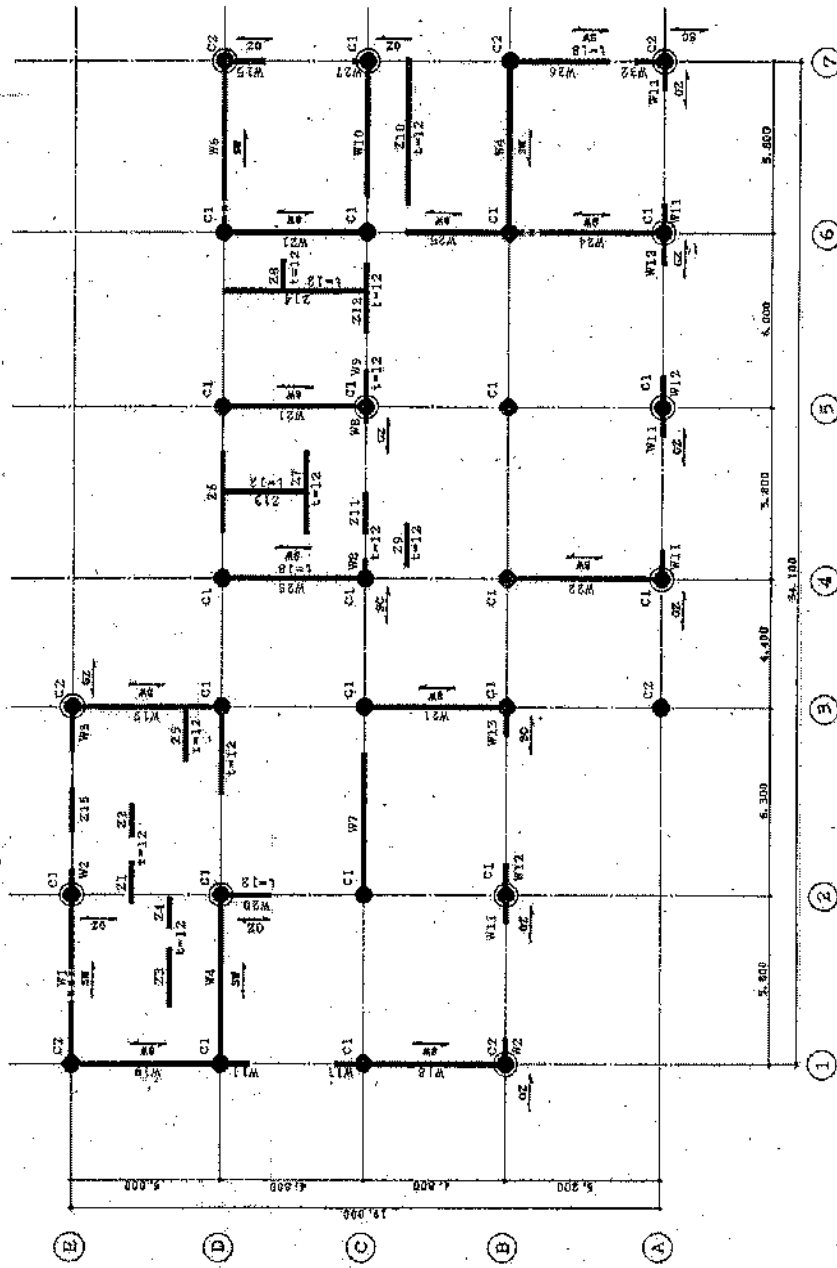


\* 第2次診断

第2次診断結果表											
建物の名称 (松崎保健所)		竣工年度 (S.55.)		住所 (濱茂郡松崎町)							
診断番号 (富士企画)		診断年月日 (H.7.10.7)		診断方向 (X & Y)							
建物の階数 (2)											
構造耐震判定指標 Iso = Es x Z x G x U =											
方向	階	C	F	EO	SD	T	IS	CT x SD	判定		
Y	6										
	5										
	4										
	3										
	2	0.35 4.26	0.80 1.00	3.20 ( 2.01 )	0.90	0.93	2.69 ( 1.68 )	2.88			
	1	0.25 2.76	0.80 1.00	2.75 ( 1.75 ) [ 2.76 ]	0.90	0.93	2.32 ( 1.47 ) [ 2.32 ]	2.49			

{ } : 種亜性部材を考慮した場合の指標値  
[ ] : せん断降伏性を考慮した場合の指標値 (5) 式にて算定

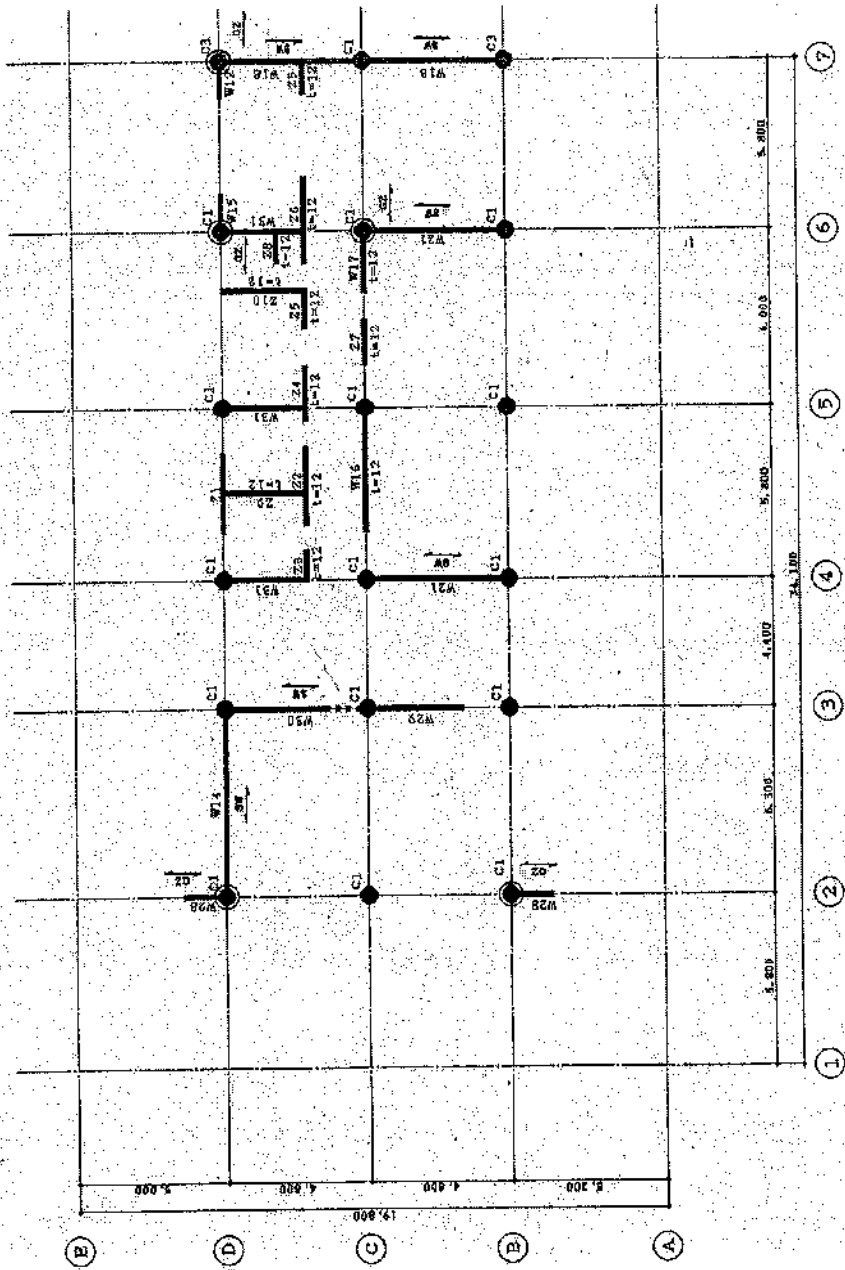
\*\*\*\*\* プログラム SCREEN 1.2 は正常に終了しました \*\*\*\*\*



- ..... 柱底(柱部材)
- ⊗..... 柱底(柱部材)
- ..... せん断壁
- ⊗..... せん断壁

1階伏図 SL:1:200  
 構造部材の寸法は、図面に示す通りとする。

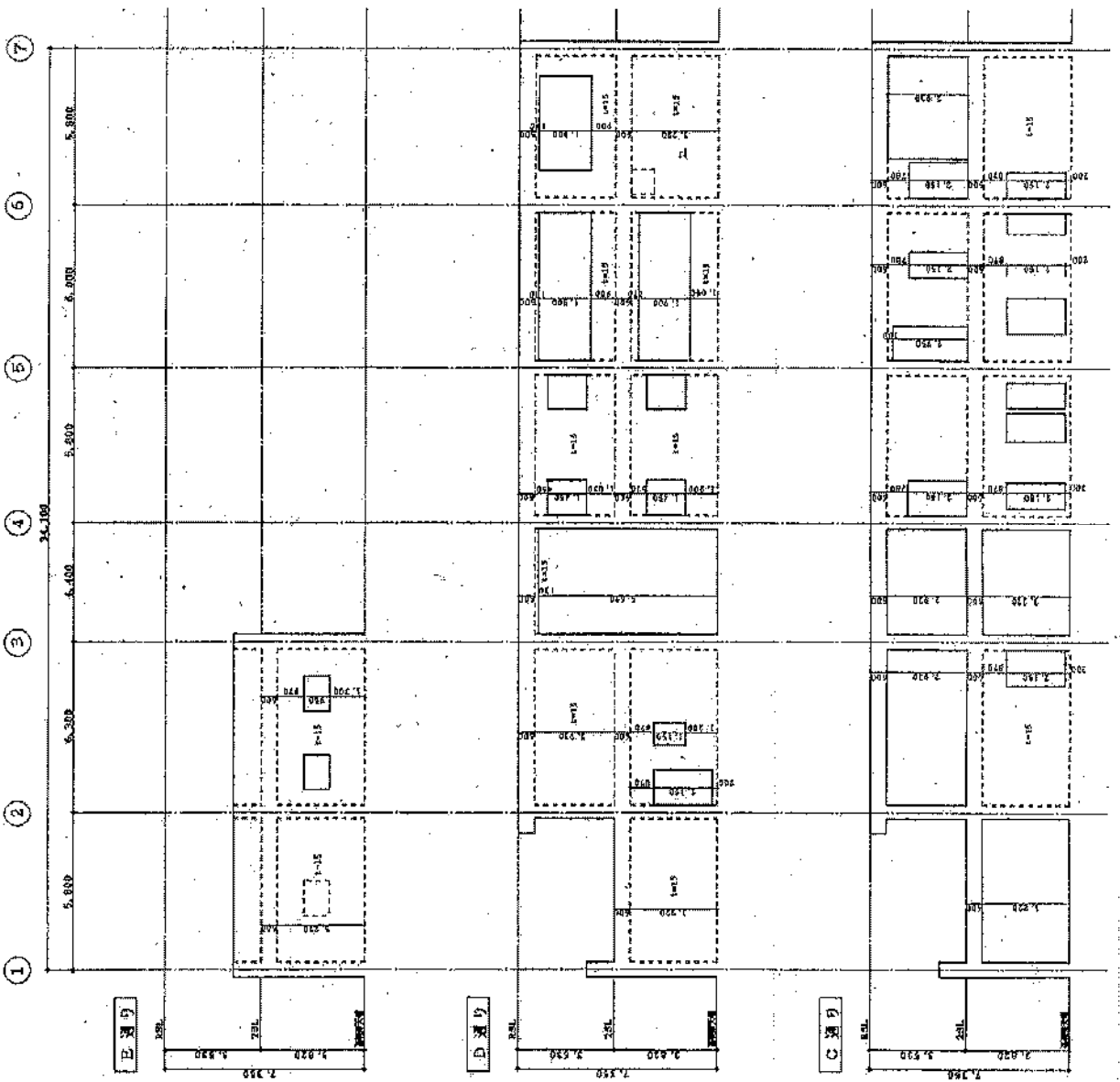
	構造部材数		最大セグメント数				
	X	Y	X	Y	X	Y	
1階	25	20	4	4	4	4	
2階	17	13	3	3	3	5	



2階床図 5L:1:200  
 建築部 2021-11-15

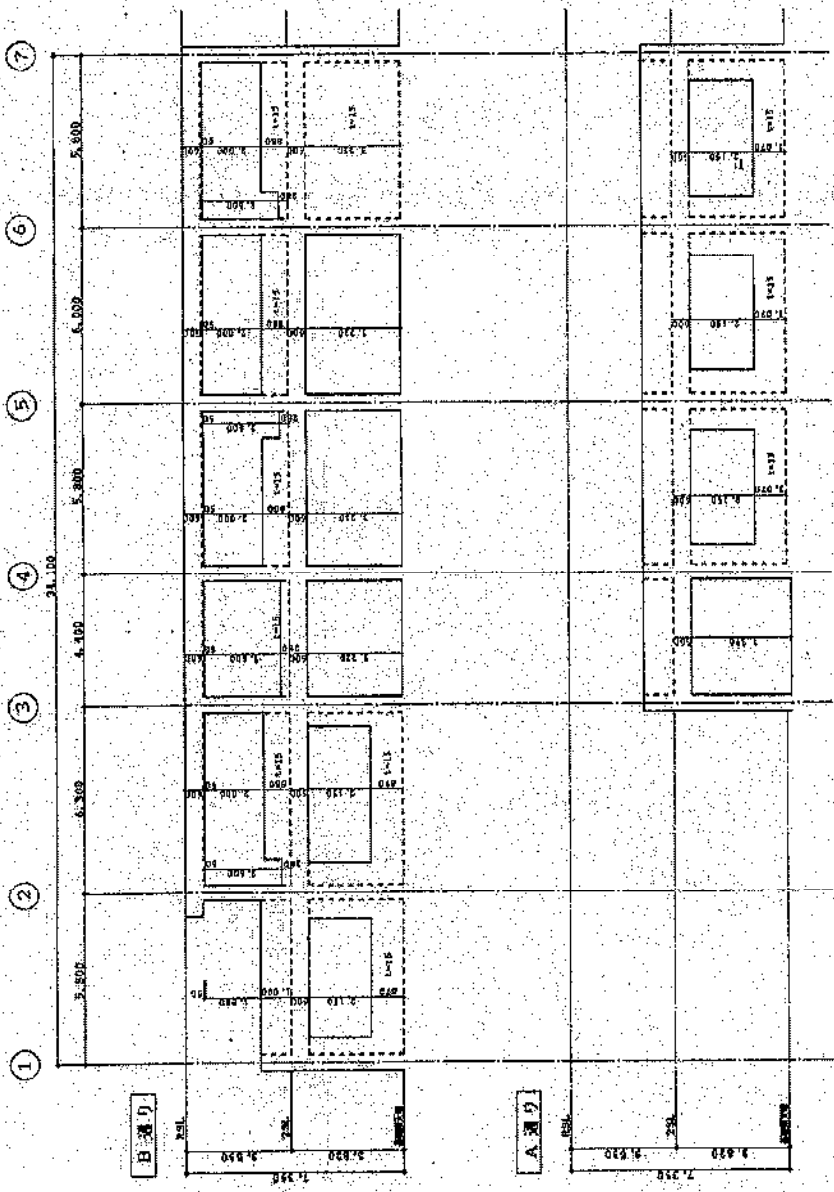
- ..... 鉄筋コンクリート柱
- ⊗ ..... 鉄骨コンクリート柱
- ⊗ ..... 第2種構造用鋼
- ..... 地中掘削
- ..... 地中掘削

編定図 91-1-290  
 棟名 330号棟  
 42444444



縮尺 1:1,200

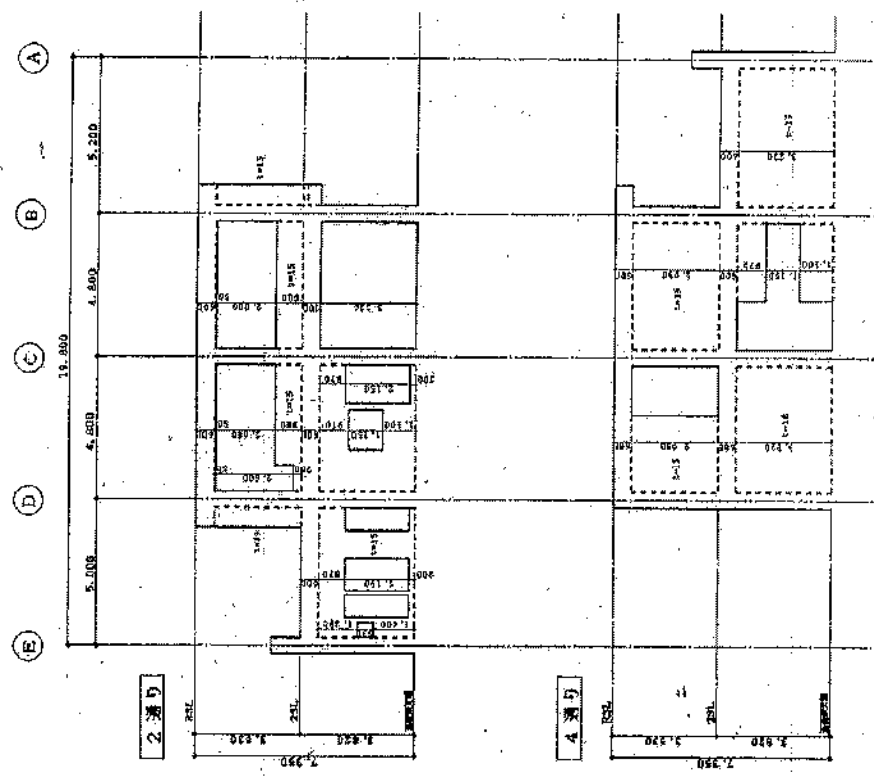
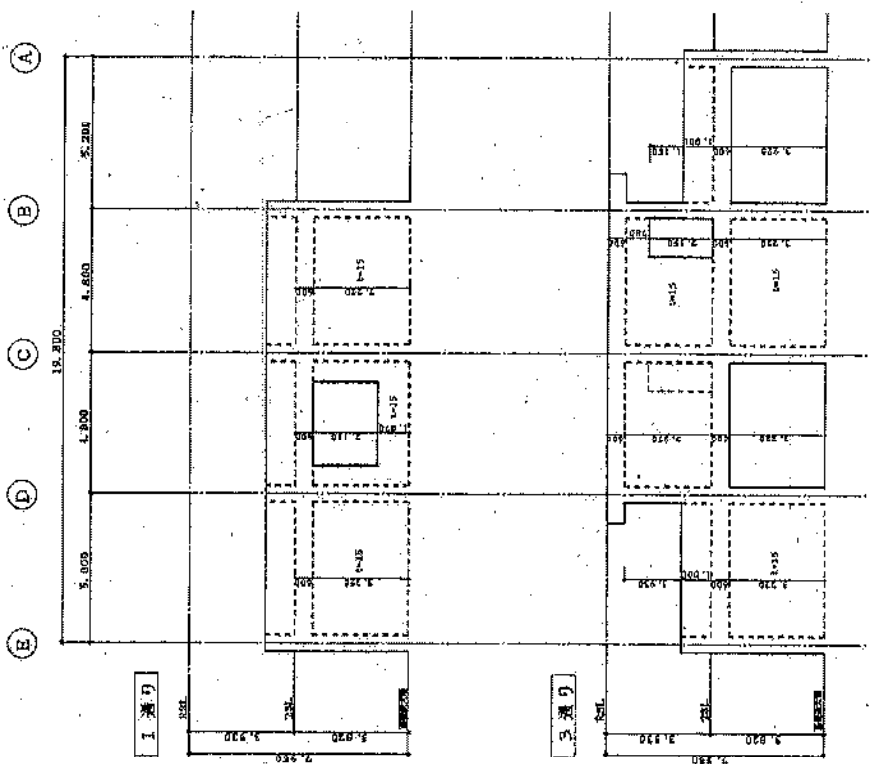
2024年 2月 1日現在  
2024年 2月 1日現在



縮尺 1:200

建設部 設計課

設計者 〇〇〇

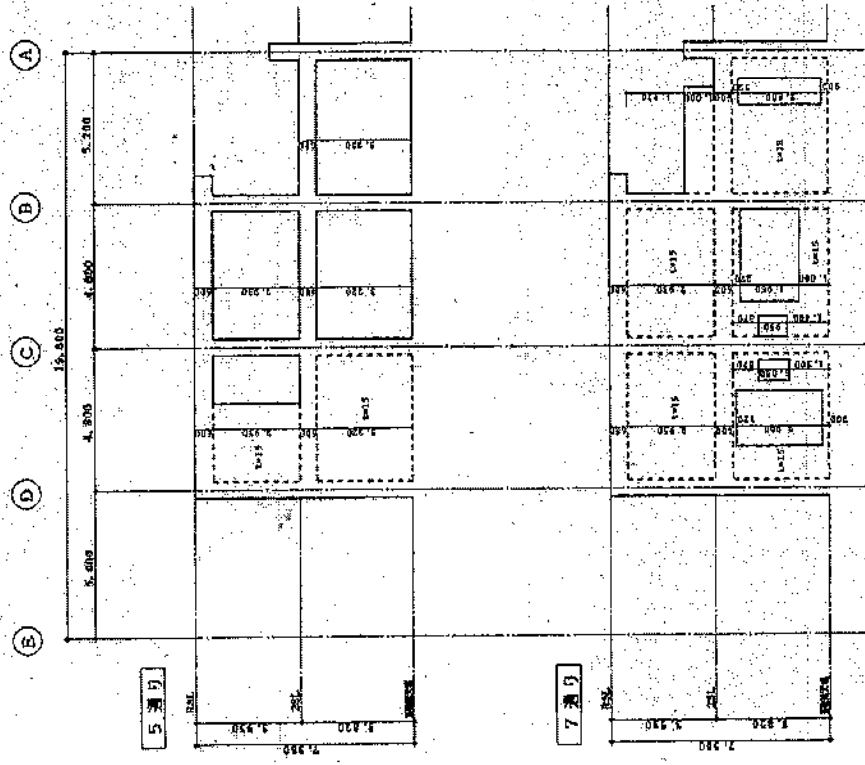


縮尺 1/2000

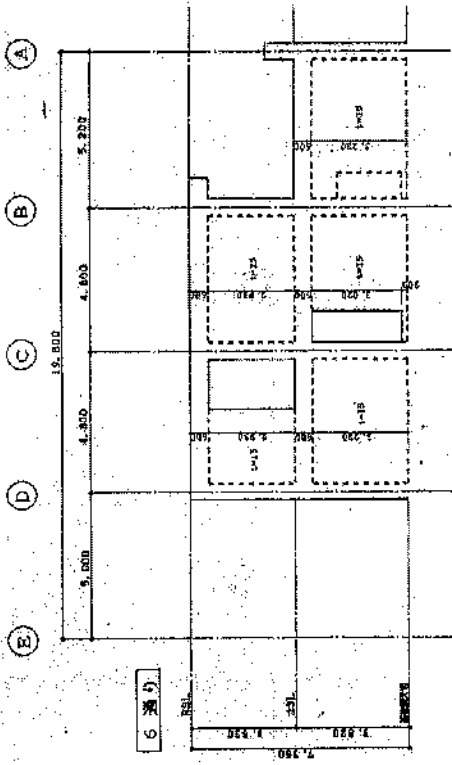
2024年 5月 14日

設計者 〇〇〇

校核者 〇〇〇

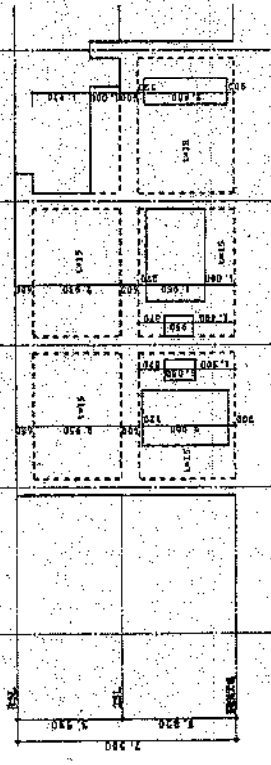


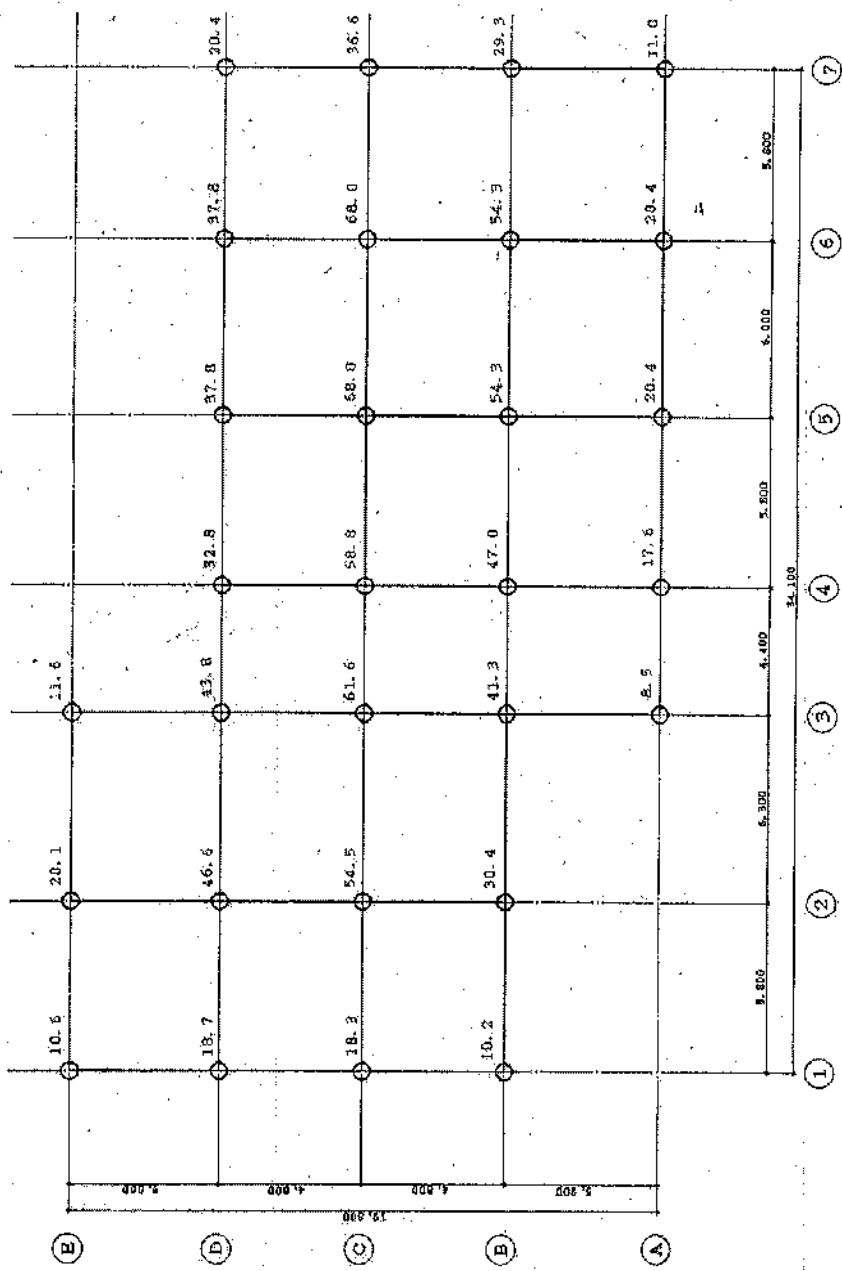
5 酒口



6 酒口

7 酒口



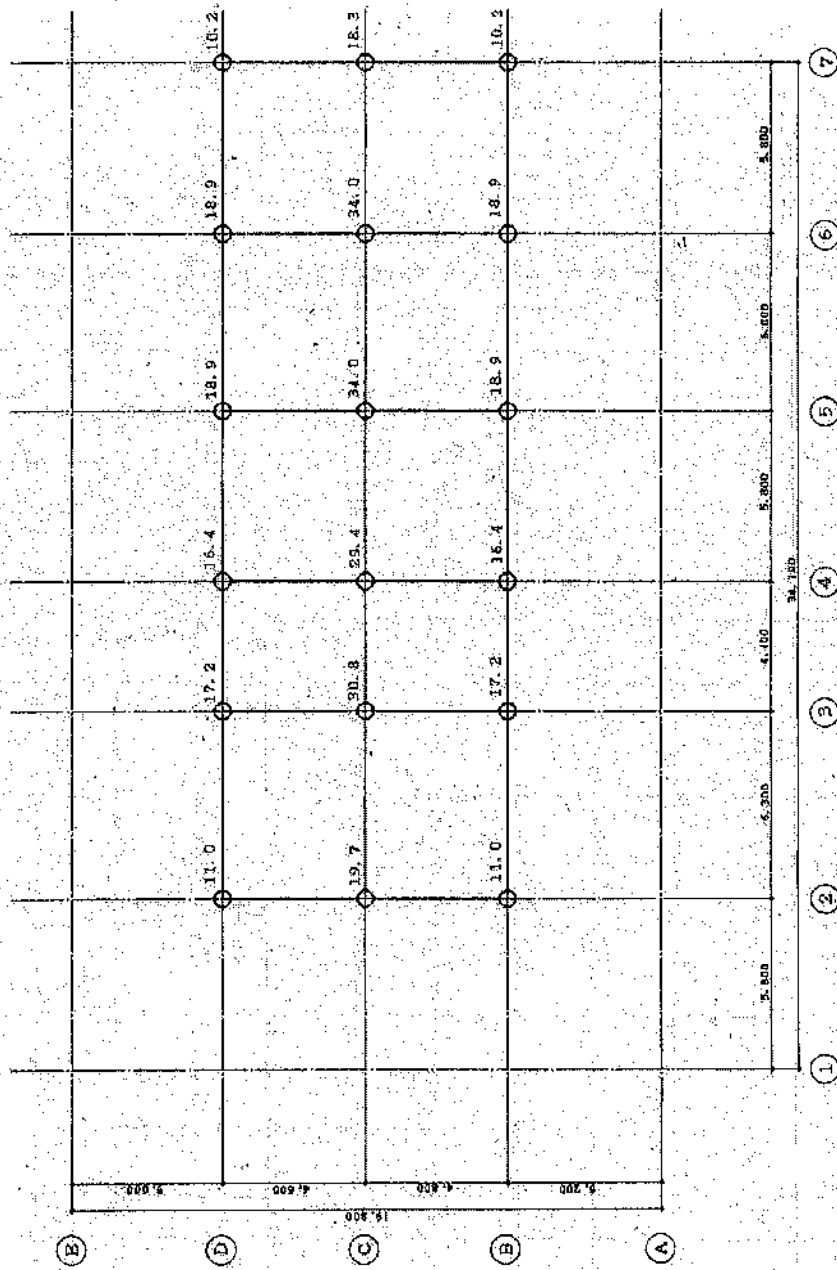


		1 階	2 階
重心	X	18.09	19.95
	Y	10.31	9.80
屋蓋重量		659.3	351.4
建物重量		990.7	351.4
床面積		529.92	285.0
単位重量		1.2	1.2

1 階軸力表 SL:1:200

\* ハケ出し部分は、その1/2を床面積に算入





2階軸力表 3L-11200

柱リスト No.

19

使用鉄筋 No.	柱 成 (cm)	かぶり厚さ (cm)				X方向引張鉄筋				Y方向引張鉄筋				全鉄筋本数				Hoop					
		X		Y		(1)		(2)		(1)		(2)		(1)		(2)		(3)		X方向		Y方向	
		本数	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	径
SR234 (SD295) SD345 SD395		55	55	55	55	4	22	10	22	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
B=55 D=55																							
B=55 D=55																							
B=55 D=55																							
B= D=																							
B= D=																							
B= D=																							
B= D=																							
B= D=																							
B= D=																							
B= D=																							
B= D=																							
B= D=																							

(a) (b) (c) (d) (e) (f) (g) (h) (i) (j) (k) (l) (m) (n) (o) (p) (q) (r) (s) (t) (u) (v) (w) (x) (y)

壁リスト No. 1

壁番号	壁長さ (cm)	壁厚さ (cm)	かぶり厚さ (cm)	端頭補強筋		縦筋		横筋		開口比	開口比算定
				本数	径	本数	径	本数	径		
1	5,800	1,5	5	0	1,0	2,000	1,0	2,000	1,0	0.24	$\beta = \frac{1.0 \times 0.85}{5.8 \times 0.82} = 0.24$
2	8,5	1,5	5	2	1,3	2,000	1,0	2,000	1,0	0	
3	1,4,5	1,5	5	2	1,3	2,000	1,0	2,000	1,0	0	
4	5,800	1,5	5	0	1,0	1,500	1,0	1,500	1,0	0	
5	2,900	1,2	5	1	1,3	2,000	1,0	2,000	1,0	0	
6	5,800	1,5	5	0	1,0	2,000	1,0	2,000	1,0	0.20	$\beta = \frac{1.0 \times 0.85}{5.8 \times 0.82} = 0.20$
7	4,7,2	1,5	5	1	1,3	1,500	1,0	1,500	1,0	0	
8	5,5	1,2	5	1	1,3	2,000	1,0	2,000	1,0	0	
9	1,2,5	1,2	5	1	1,3	2,000	1,0	2,000	1,0	0	
10	4,570	1,5	5	1	1,3	1,500	1,0	1,500	1,0	0	
11	9,5	1,5	5	2	1,3	2,000	1,0	2,000	1,0	0	
12	1,0,5	1,5	5	2	1,3	2,000	1,0	2,000	1,0	0	
13	7,5	1,5	5	2	1,3	2,000	1,0	2,000	1,0	0	
14	4,2,0	1,5	5	0	1,0	2,000	1,0	2,000	1,0	0	
15	1,0,0	1,5	5	2	1,3	2,000	1,0	2,000	1,0	0	
16	4,2,2	1,2	5	1	1,3	2,000	1,0	2,000	1,0	0	
17	1,7,5	1,2	5	1	1,3	2,000	1,0	2,000	1,0	0	
18	4,8,0	1,5	5	0	1,0	2,000	1,0	2,000	1,0	0	
19	5,0,0	1,5	5	0	1,0	2,000	1,0	2,000	1,0	0	
20	1,4,5	1,2	5	1	1,3	2,000	1,0	2,000	1,0	0	

(a)

(b)

(c)

(d)

(e)

(f)

(g)

(h)

(i)

(j)

(k)

壁リスト No. Z


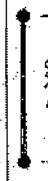






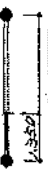
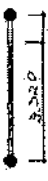
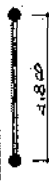











壁リスト No. Z	型番	壁厚さ (cm)	長さ (cm)	壁厚さ (cm)	かぶり厚さ (cm)	端部補強筋		縦筋		横筋		開口比	開口比算定
						本数	径	本数	径	本数	径		
SR234 (SD295) SD345	1, 2	3, 4, 5	6, 7, 8, 9, 10	11, 12, 13, 14, 15	16, 17, 18, 19, 20	21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48							
	2, 1	4, 8, 0	1, 5	1, 5	5	0	0	1	1, 0	1, 0	1, 5, 0	0	
	2, 2	5, 1, 0	1, 5	1, 5	5	0	0	2	1, 0	1, 0	2, 0, 0	0	
	2, 3	4, 8, 0	1, 8	1, 8	5	0	0	2	1, 0	1, 0	2, 0, 0	0	
	2, 4	5, 2, 0	1, 5	1, 5	5	0	0	1	1, 0	1, 0	1, 5, 0	0	$\beta = \frac{1.95 \times 2.75}{1.5 \times 2.82} = 0.32$
	2, 5	3, 5, 7	1, 5	1, 5	5	1	1, 3	1	1, 0	1, 0	1, 5, 0	0	
	2, 6	3, 2, 5	1, 8	1, 8	5	2	1, 3	2	1, 0	1, 0	2, 0, 0	0	
	2, 7	5, 0	1, 5	1, 5	5	2	1, 3	2	1, 0	1, 0	2, 0, 0	0	
	2, 8	1, 3, 5	1, 5	1, 5	5	2	1, 3	2	1, 0	1, 0	2, 0, 0	0	
	2, 9	3, 2, 0	1, 5	1, 5	5	1	1, 3	1	1, 0	1, 0	1, 5, 0	0	
	3, 0	4, 8, 0	1, 2	1, 2	5	0	0	1	1, 0	1, 0	2, 0, 0	0	$\beta = \frac{1.95 \times 2.75}{1.5 \times 2.82} = 0.32$
	3, 1	2, 8, 6	1, 5	1, 5	5	1	1, 3	1	1, 0	1, 0	1, 5, 0	0	
	3, 2	1, 0, 0	1, 8	1, 8	5	2	1, 3	2	1, 0	1, 0	2, 0, 0	0	
													
													
													
													
													
													
													
													
													
													
	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)	(h)	(i)	(j)	(k)	(l)	(m)





表10 項目の分類及びC, R一覧表



項目	形状性	C1 (グループ)			R (レンジ調整係数)	
		1.0	0.9	0.8	R1	R2
1次断面用 (1.2)	a 形状性	矩形	正方形	0.8	1.0	0.5
	b 辺長比	$0.5 \leq b$	$5 < b \leq 8$	$8 < b$	0.5	0.25
	c ぐびれ	$0.3 \leq c$	$0.5 \leq c < 0.8$	$c < 0.5$	0.5	0.25
	d エキスパンションポイント	$\frac{1}{100} \leq d$	$\frac{1}{200} \leq d < \frac{1}{100}$	$d < \frac{1}{200}$	0.5	0.25
	e 吹抜	$0 \leq 0.1$	$0.1 < e \leq 0.3$	$0.3 < e$	0.5	0.25
2次断面用 (1.2)	f 吹抜の存在	$f_1 \leq 0.4$ かつ $f_2 \leq 0.1$	$f_1 \leq 0.4$ かつ $0.1 < f_2 \leq 0.3$	$0.4 < f_1$ または $0.3 < f_2$	0.25	0
	g その他特殊形状				0.5	0.25
	h 気圧	$1.0 \leq h$	$0.5 \leq h < 1.0$	$h < 0.5$	1.0	1.0
	i 層高の相等性	$0.8 \leq i$	$0.7 \leq i < 0.8$	$i < 0.7$	0.5	0.25
	j プロテクトの有無	$0 \leq 0.1$	全てプロテクト	プロテクトが存在	0.5	0.25
2次断面用 (2)	k その他特殊形状				0.5	0.25
	l 重心-剛心の偏心率	$e \leq 0.1$	$0.1 < e \leq 0.15$	$0.15 < e$		1.0
	m					
	n 上下層の剛度比	$0.8 \leq n \leq 1.2$	$1.2 < n \leq 1.7$ または $0.5 \leq n < 0.8$	$1.7 < n$ または $n < 0.5$		1.0
	o					

\*1 エキスパンションポイントがある場合は各区分を一律として検討を行なう。

\*2 顯著な特殊形状(平面)がある場合には各区分に用いる。(解説参照)

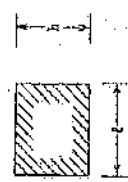
\*3 (断面)

例

- a: 図2 軸肉材のもので、一つの突出部の面積が床面積の10%以下のもの。  
突出部とは長さ $L$  / 幅 $B \geq \frac{1}{2}$ の場合を対象とする。
- b:  $a_1, a_2$  より不適なもの。また、L, T, U型等の平面で一つの突出部の面積が床面積の30%以下のもの。
- c:  $a_1, a_2$  より不適なもの。
- d:  $b =$  吹抜/幅辺 L, T, U型等の場合は、長辺長として $L$ を用いる。
- e:  $c = d_1 / d_2$  
- f: エキスパンションポイントのある場合に適用する。 $d = EXP.J$ の壁体間隔/EXP.J部の高さ
- g: 吹抜部面積 / (吹抜部面積を含む)床面積。ただし、鉄筋コンクリート型により面とされている階高に吹抜部とみなさない。
- h:  $f_1 =$  (隅部中心(隅心)と吹抜部中心間の距離) / 吹抜部の短辺長さ  
 $f_2 =$  ( ) / 吹抜部の長辺長さ
- i:  $h =$  地下階面積 / 建築面積
- j:  $i =$  上層の階高 / 検討する層の階高。検討する層が最上層の場合は式中、上層を下層と読みかえる。
- k: 床面がプロテクトにより支持されており、かつ、そのプロテクトの平均的剛度が備っている場合は備っていないと扱う。ただし、金架梁がラーメンの場合はプロテクトとして扱われず。
- l:  $e = EXP.J / (B + L) \times \frac{I}{I_0}$  
- m:  $n =$  (上層の(剛/重)比 / 相当層の(剛/重)比)  $\times \rho$ 。最上層が最上層の場合は式中、上層を下層と読みかえる。
- n: (剛/重)比 = (層の剛性) / (その階より上の建築物全重量)とし、層の剛性は (L<sup>3</sup> / 12) (柱断面高<sup>3</sup>) + S (壁断面高<sup>3</sup>) / (層高<sup>3</sup>) / (剛/重)比<sup>2</sup> / 4 をもって各通りの水平断面(α)をみる。
- o:  $n =$  (上層の(剛/重)比 / 相当層の(剛/重)比)  $\times \rho$ 。最上層が最上層の場合は式中、上層を下層と読みかえる。

\*4 壁の長さ~高さのプロポーションにより下張のαを要する。

壁のプロポーション h/L	α	
	ラーメン内の壁	ラーメン外の壁
$3.0 \leq h/L$	1.0	0.3
$2.0 \leq h/L < 3.0$	1.5	0.5
$1.0 \leq h/L < 2.0$	2.5	0.8
$h/L < 1.0$	3.5	1.2



経年指標

1 次診断用 (該当個所に○印をつける)

表II 1次調査による経年指標Tの算定表

[A] チェック項目	[B] 程 度	[C] T 値 (該当個所に○印)	[D] 2次調査の 関連項目
変 形	建物が傾斜している。または明らかに不同沈下を起している。 地盤が埋立地かまたは水田跡である。 列眼ではり、柱の変形が認められる。 上記に該当せず。	0.7 0.9 0.9 (1.0)	構造されつ・変形
梁・柱のきれつ	雨もりがあり、鉄筋さびが出ている。 肉眼で柱に新めきれつがはつきりみえる。 外壁に数えきれない程きれつが入っている。 雨もりはあるが、さびは出していない。 上記に該当せず。	0.8 0.9 0.9 0.9 (1.0)	構造されつ・変形
水 害 経 験	浸透あり。 受けたことがあるが曝露目立たず。 なし	0.7 0.8 (1.0)	構造されつ・変形 変質・老朽化
用 途	化学薬品を使用していたが現在使用中。 上記に該当せず。	0.8 (1.0)	変質・老朽化
建 物 年 数	30年以上 20年 20年未満	0.8 0.9 (1.0)	変質・老朽化
仕 上 状 態	外壁の老朽化による剥離が著しい。 内壁の変質、剥離が著しい。 特に問題なし。	0.9 0.9 (1.0)	変質・老朽化



2次診断用(該当箇所は○印をつける)

表12 2次調査の減点集計表(階) : 第2次診断 (注) 該当する箇所の数値を○印した後、集計する。

部	位	種	度	製造されつ			変質			老朽化			
				a	b	c	a'	b'	c'	a'	b'	c'	
2	I 床 (小ばり を含む)	I	1. 総床数の%以上	1. 0.017	1. 0.005	1. 0.001	1. 0.017	1. 0.005	1. 0.001	1. 雨水・漏水による鉄筋等によるコンクリートの著しい劣れ、または、	1. 雨水・漏水・化学薬品等によるコンクリートの著しい劣れ、または、	1. 雨水・漏水・化学薬品等によるコンクリートの著しい劣れ、または、	
			II 同上%~% III 同上%未満	2. 0.006	2. 0.002	2. 0	2. 0.006	2. 0.002	2. 0	2. コンクリートの中核化または同等の材料、または、	2. 仕上げ材の著しい劣れ、	2. 仕上げ材の著しい劣れ、	
			III 同上%未満	③ 0.002	③ 0.001	③ 0	③ 0.002	③ 0.001	③ 0	③ 0.001	③ 0	③ 0	
3	II 大ばり	I	I 運搬1方向につき総床数の%以上	1. 0.050	1. 0.015	1. 0.004	1. 0.050	1. 0.015	1. 0.004	1. 雨水・漏水による鉄筋等によるコンクリートの著しい劣れ、または、	1. 雨水・漏水・化学薬品等によるコンクリートの著しい劣れ、または、	1. 雨水・漏水・化学薬品等によるコンクリートの著しい劣れ、または、	
			II 同上%~% III 同上%未満	2. 0.017	2. 0.005	2. 0.001	2. 0.017	2. 0.005	2. 0.001	2. コンクリートの中核化または同等の材料、または、	2. 仕上げ材の著しい劣れ、	2. 仕上げ材の著しい劣れ、	
			III 同上%未満	③ 0.005	③ 0.002	③ 0	③ 0.005	③ 0.002	③ 0	③ 0.002	③ 0	③ 0	
4	III 壁柱	I	I 総部材数の%以上	1. 0.180	1. 0.046	1. 0.011	1. 0.150	1. 0.046	1. 0.011	1. 雨水・漏水による鉄筋等によるコンクリートの著しい劣れ、または、	1. 雨水・漏水・化学薬品等によるコンクリートの著しい劣れ、または、	1. 雨水・漏水・化学薬品等によるコンクリートの著しい劣れ、または、	
			II 同上%~% III 同上%未満	2. 0.050	2. 0.015	2. 0.004	2. 0.050	2. 0.015	2. 0.004	2. コンクリートの中核化または同等の材料、または、	2. 仕上げ材の著しい劣れ、	2. 仕上げ材の著しい劣れ、	
			III 同上%未満	③ 0.017	③ 0.005	③ 0.001	③ 0.017	③ 0.005	③ 0.001	③ 0.005	③ 0.001	③ 0.001	
小計				0.025	0.008	0.001	0.025	0.008	0.001	P <sub>2</sub> = 0.034			
合計				P <sub>1</sub> = 0.034									
				a	b	c	a'	b'	c'				

# DATA SHEET

PAGE 29

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
No.																								
1 1D番号 建物名称 場所 市町村 コード 用途 設計年度 階数 ペントハウス 地下室の有無 場所のメッシュ番号 方向軸と取柄線とのなす角度																								
2 下田福徳新松崎支所 下田 福徳町 松崎 2F 14 54 55 2 0 0 533806044 0																								
3 各種耐震又は各種単位床面積重量 重量の与え方 各種床面積 1F 507.65 2F 285.0 3F 4F 5F 6F PH																								
4 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20																								
5 備心率																								
6 X 1F 0.05 2F 0.05 3F 0.05 4F 0.05 5F 0.05 6F 0.05																								
7 1次診断Is値																								
8 X 1F 1.83 2F 1.74 3F 1.74 4F 1.74 5F 1.74 6F 1.74																								
9 1次診断So値																								
10 X 1F 2.29 2F 2.29 3F 2.29 4F 2.29 5F 2.29 6F 2.29																								
11 2次診断So値																								
12 X 1F 5.07 (2.48) 2F 2.20 (2.42) 3F 2.20 (2.42) 4F 2.20 (2.42) 5F 2.20 (2.42) 6F 2.20 (2.42)																								
13 備心率																								
14 Y 1F 0.03 2F 0.10 3F 0.10 4F 0.10 5F 0.10 6F 0.10																								
15 1次診断Is値																								
16 Y 1F 2.06 (2.37) 2F 2.86 (2.37) 3F 2.86 (2.37) 4F 2.86 (2.37) 5F 2.86 (2.37) 6F 2.86 (2.37)																								
17 1次診断So値																								
18 Y 1F 2.58 (2.53) 2F 2.58 (2.53) 3F 2.58 (2.53) 4F 2.58 (2.53) 5F 2.58 (2.53) 6F 2.58 (2.53)																								
19 2次診断So値																								
20 Y 1F 5.76 (2.75) 2F 2.20 (2.67) 3F 2.20 (2.67) 4F 2.20 (2.67) 5F 2.20 (2.67) 6F 2.20 (2.67)																								
21 (備考)																								